

(様式第 10)

琉大上総第 230 号  
令和 2 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人 琉球大学  
学 長 西 田

琉球大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
氏 名	国立大学法人琉球大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

琉球大学病院
--------

3 所在の場所

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207	電話( 098 ) 895 - 3331
------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科		
2消化器内科		
3循環器内科		
4腎臓内科		
5神経内科		
6血液内科		
7内分泌内科		
8代謝内科		
9感染症内科		
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
11リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無	
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	14放射線治療科
15麻酔科	16救急科					

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科
診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 神経科	2 呼吸器科	3 消化器科	4 循環器科	5 病理診断科	6 形成外科	7 リハビリテーション科
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	6床	4床	床	550床	600床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	363人	18人	371.9人	看 護 補 助 者	66人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	20人	3人	20.6人	理 学 療 法 士	19人	臨 床 検 査 技 師	42人
薬 剤 師	39人	2人	40.5人	作 業 療 法 士	8人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	8人	そ の 他	0人
助 産 師	38人	0人	38.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	648人	18人	661.9人	臨 床 工 学 士	25人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	56人
歯 科 衛 生 士	5人	0人	5.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	148人
管 理 栄 養 士	8人	0人	8.0人	診 療 放 射 線 技 師	34人	そ の 他 の 職 員	169人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	32人	眼 科 専 門 医	7人
外 科 専 門 医	25人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	9人	放 射 線 科 専 門 医	13人
小 児 科 専 門 医	17人	脳 神 経 外 科 専 門 医	8人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整 形 外 科 専 門 医	19人
泌 尿 器 科 専 門 医	7人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産 婦 人 科 専 門 医	17人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	200人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 大屋 祐輔 ) 任命年月日 平成 31年 4月 1日

医療安全管理委員会委員長  
 医療安全調査委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	508.6人	12.3人	521.0人
1日当たり平均外来患者数	1147.7人	79.9人	1227.6人
1日当たり平均調剤数	6166.1		剤
必要医師数			121.0人
必要歯科医師数			6.00人
必要薬剤師数			78人
必要(准)看護師数			303人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	163.07m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	8床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 54.25 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 0 台		病床数		6 床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名		医薬品情報室・薬剤部員室			
化学検査室	350.60m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動蛍光免疫測定装置			
細菌検査室	126.94m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動迅速同定感受性測定装置			
病理検査室	151.73m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 脱水・脱脂パラフィン浸透装置			
病理解剖室	58.44m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) SL写真撮影装置			
研究室	6101.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) HSオールインワン蛍光顕微鏡システム			
講義室	525.91m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室	室数	2 室
図書室	807.00m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5 室	室数	5 室

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	79.2%	逆紹介率	55.6%
算出 根拠	A：紹介患者の数	13,083人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,892人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,014人		
	D：初診の患者の数	17,790人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無	1
望月 保博	かりゆし法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・無	1
儀間 小夜子	NPO 法人こども医療支援わらびの会		医療を受ける立場にある者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	
大学公式ホームページ及び病院公式ホームページでの公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	7人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	83人
該医療技術の概要 経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は、重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療である。TAVIは、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会に認定された医療機関のみが施行可能な治療法である。			
医療技術名	胸腔鏡下食道切除術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 食道癌に対し、従来は開胸手術を要していたが、胸腔鏡を用いることで痛みが減り、入院期間が短縮できる。			
医療技術名	生体部分肝移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 進行末期肝硬変に対する、唯一の根本的治療である。経験、環境など大学病院以外では難しいと思われる。			
医療技術名	アミノレブリン酸による術中蛍光診断	取扱患者数	90人
当該医療技術の概要 アミノレブリン酸は、悪性神経膠腫や髄膜腫では、細胞内に取り込まれた後、ミトコンドリア内にてプロトポルフィリンIXへと代謝され、腫瘍細胞内に選択的に蓄積する。プロトポルフィリンIXは、光高感受性物質であり、青色光線(400-410nm)により励起されると、赤色発光するため、術中に腫瘍と正常組織との識別が可能となり、摘出率の向上及び予後の改善に重要な役割を果たしている。			
医療技術名	画像誘導装置を用いた脳腫瘍摘出術	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 脳腫瘍摘出術中にニューロナビゲーションシステムを用いて頭蓋内病変の位置と周囲神経線維、脳神経、主要血管の位置を同定し、より安全で確実な病変の摘出と神経機能温存を可能にする技術である。			
医療技術名	術中ICG蛍光血管撮影	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 術中にインドシアングリーン(ICG)を静脈内投与し、赤外線による蛍光により頭蓋内血管を同定する。脳腫瘍における栄養血管の評価、周囲静脈系の評価に有効である。また、血行再建術やクリッピング術において、処置の精度、血管温存の確認などの評価が術中に可能であり、安全で質の高い手術を行うための技術である。			
医療技術名	術中神経機能モニタリング	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 術中に誘発電位や筋電図を記録することにより、神経機能を直接評価しつつ手術を行うことが可能となる技術である。運動誘発電位、脳神経モニタリング、聴性脳幹反応、体性感覚誘発電位、視覚誘発電位があり神経機能温存のために有用である。			
医療技術名	ロボットスーツを用いたニューロリハビリテーション	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 身体に装着することによって、身体機能を補助・増幅・拡張することができるサイボーグ型ロボットHAL(Hybrid Assistive Limb)を使用したリハビリテーションである。脳腫瘍や脳卒中による運動機能障害を有する患者の急性期リハビリテーションに有用である。			
医療技術名	経頭蓋直流電気刺激法を用いたニューロリハビリテーション	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 tDCS(経頭蓋直流電気刺激法)は、障害脳の頭皮上に陽極電極、反対側に陰極電極を設置して、1mAの直流電流を用いて10-30分間刺激を行う電気刺激法であり、障害脳の興奮性シグナルを増加させ、健側脳の過活動を抑制することで、大脳半球間の不均衡を修正し、脳の可塑的变化を促進すると考えられている装置である。脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷による機能障害を有する患者の急性期リハビリテーションに有用である。			
医療技術名	悪性脳腫瘍に対する光線力学療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 浸潤性性格を有する悪性脳腫瘍に対して、腫瘍切除後、浸潤最先端部を術中MRIにて同定し、マイクロ顕微鏡による直視とナビ画像により浸潤最先端部を術野に同定し、光線力学療法によりがん細胞を選択的に焼くものである。患者生命予後の向上に寄与している。			



医療技術名	成人脊柱変形及び症候性側弯症手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 高度に変形した脊柱を矯正、固定する手術で、高い手術技術を要する。令和元年より沖縄で治療が開始された。			
医療技術名	癒着胎盤例に対する大動脈balloon occlusion	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 上記疾患の患者の帝王切開時に大動脈ballon挿入による止血術を併用する。			
医療技術名	妊孕性温存目的卵巣凍結	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 小児(0~14才)のがん患者さんが、がん治療により妊娠する能力を失ってしまう可能性がある場合、がん治療前に卵巣を凍結し、がん克服後に融解し、移植する技術である。			
医療技術名	妊孕性温存目的卵子凍結	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 上記同様の目的で若年成人のがん治療開始前に卵子を凍結し、がん克服後に顕微授精を行って受精させ、移植する技術			
医療技術名	仙骨神経刺激療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性過活動膀胱に対する神経変調療法である。仙骨神経刺激装置を皮下に埋め込み、薬剤抵抗性の難治性過活動膀胱の治療となる。			
医療技術名	全身照射	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 骨髄移植の前処置としての全身照射を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	前立腺癌に対する小線源刺入療法	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 限局期前立腺癌の根治を目的とした治療法の1つである小線源刺入療法を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍に対する腔内照射	取扱患者数	70人
当該医療技術の概要 子宮頸癌の標準治療に含まれており、また子宮体癌、外陰癌、腔癌等の婦人科悪性腫瘍に対しても適応となり得る腔内照射を県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名	放射線治療不応骨転移に対する動注化学塞栓術	取扱患者数	約10人
当該医療技術の概要 放射線治療後の再発あるいは無効である骨転移症例に対して行っている。県内で唯一当院で施行している。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	56	ベーチェット病	25
2	筋萎縮性側索硬化症	7	57	特発性拡張型心筋症	23
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	6
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	11
6	パーキンソン病	46	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンテントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	18
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	33	66	IgA腎症	64
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	23
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	34	68	黄色靱帯骨化症	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	9	69	後縦靱帯骨化症	43
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	59
17	多系統萎縮症	6	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	8	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	17	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	5	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	61
24	亜急性硬化性全脳炎	5	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	11	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	6	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	39
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	8
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	14
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
34	神経線維腫症	11	89	リンパ脈管筋腫症	4
35	天疱瘡	26	90	網膜色素変性症	28
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	13	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	43
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	1
40	高安動脈炎	14	95	自己免疫性肝炎	9
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	115
42	結節性多発動脈炎	2	97	潰瘍性大腸炎	99
43	顕微鏡的多発血管炎	13	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	4	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	7	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	105	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	60	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	81	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	9	107	若年性特発性関節炎	6
53	シェーグレン症候群	25	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	3	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	1	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14
113	筋ジストロフィー	3	163	特発性後天性全身性無汗症	8
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリテン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	1	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	1	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	2	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	7	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	2	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフロゼ症候群	19	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	1
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	1	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	3
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシユスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	1	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	1
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性降炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	15

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/ LMX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるもの に限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	2
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	1
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	栄養サポートチーム加算
歯科外来診療環境体制加算2	医療安全対策加算1
特定機能病院入院基本料(一般7:1、精神13:1、結核7:1)	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算)(抗菌薬適正使用支援加算)
臨床研修病院入院診療加算(医科(基幹型)・歯科(単独型))	患者サポート体制充実加算
救急医療管理加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
超急性期脳卒中加算	ハイリスク妊娠管理加算
妊産婦緊急搬送入院加算	ハイリスク分娩管理加算
診療録管理体制加算1	呼吸ケアチーム加算
医師事務作業補助体制加算1(25対1)	後発医薬品使用体制加算2
急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者 5割未満)	病棟薬剤業務実施加算1
看護職員12対1夜間配置加算1	病棟薬剤業務実施加算2
乳幼児加算・幼児加算	データ提出加算2
二類感染症患者入院診療加算	入退院支援加算1(入院時支援加算)(総合機能評価加算)
超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算	認知症ケア加算3
看護補助加算2(精神病棟)	せん妄ハイリスク患者ケア加算
療養環境加算	精神疾患診療体制加算
重症者等療養環境特別加算	精神科急性期医師配置加算2のイ
小児療養環境特別加算	地域歯科診療支援病院入院加算
無菌治療室管理加算1	排尿自立支援加算
無菌治療室管理加算2	地域医療体制確保加算
緩和ケア診療加算(個別栄養食事管理加算)	特定集中治療室管理料1 (小児加算)(早期離床・リハビリテーション加算)
精神科応急入院施設管理加算	ハイケアユニット入院医療管理料2
精神科身体合併症管理加算	新生児特定集中治療室管理料1
精神科リエゾンチーム加算	新生児治療回復室入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	小児入院医療管理料2(プレイルーム加算)
がん診療連携拠点病院加算	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	導入期加算2 腎代替療法実績加算(慢性維持透析患者外来医学管理料の加算)
植込型除細動器移行期加算	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
高度難聴指導管理料	一酸化窒素吸入療法
糖尿病合併症管理料	歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
がん性疼痛緩和指導管理料	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
がん患者指導管理料イ	悪性黒色腫センチネルリンパ節加算(皮膚悪性腫瘍切除術の加算)
がん患者指導管理料ロ	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
がん患者指導管理料ハ	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
がん患者指導管理料 ニ	椎間板内酵素注入療法
外来緩和ケア管理料	腫瘍脊椎骨全摘術
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術、 脳刺激装置交換術
糖尿病透析予防指導管理料	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
小児運動器疾患指導管理料	仙骨神経刺激装置植込術及び交換術
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
婦人科特定疾患治療管理料	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
腎代替療法指導管理料	網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
院内トリアージ実施料	網膜再建術
夜間休日救急搬送医学管理料	人工中耳植込術
救急搬送看護体制加算1	人工内耳植込術、 植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
外来リハビリテーション診療料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
外来放射線照射診療料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
ニコチン依存症管理料	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
がん治療連携計画策定料	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)

がん治療連携管理料	乳がんセンチネルリンパ節加算1(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・併用)
認知症専門診断管理料	乳がんセンチネルリンパ節加算2(乳腺悪性腫瘍手術の加算)及びセンチネルリンパ節生検(片側・単独)
肝炎インターフェロン治療計画料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
外来排尿自立指導料	経皮的冠動脈形成術
ハイリスク妊産婦連携指導料1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	経皮的冠動脈ステント留置術
薬剤管理指導料	胸腔鏡下弁形成術
医療機器安全管理料1	経カテーテル大動脈弁置換術
医療機器安全管理料2	胸腔鏡下弁置換術
精神科退院時共同指導料2	経皮的中隔心筋焼灼術
医療機器安全管理料(歯科)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
総合医療管理加算 歯科治療時医療管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
持続血糖測定器加算、 皮下連続式グルコース測定	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
造血器腫瘍遺伝子検査	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
遺伝学的検査	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
骨髄微小残存病変量測定	補助人工心臓
BRCA1/2遺伝子検査	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
がんゲノムプロファイリング検査	経皮的冠動脈遮断術
先天性代謝異常症検査	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
精密触覚機能検査	ダメージコントロール手術
抗HLA(スクリーニング検査)及び抗HLA(抗体特異性同定検査)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
検体検査管理加算(I)	腹腔鏡下肝切除術
検体検査管理加算(IV)	生体部分肝移植術
国際標準検査管理加算	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
植込型心電図検査	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を使用した場合)



時間内歩行試験、 シャトルウォーキングテスト	同種死体腎移植術
ヘッドアップティルト試験	生体腎移植術
長期継続頭蓋内脳波検査	膀胱水圧拡張術
光トポグラフィー	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
神経学的検査	人工尿道括約筋植込・置換術
補聴器適合検査	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
黄斑局所網膜電図・全視野精密網膜電図	腹腔鏡下仙骨腔固定術
小児食物アレルギー負荷検査	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
内服・点滴誘発試験	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
画像診断管理加算3	胃瘻造設術
遠隔画像診断	輸血管理料Ⅱ
ポジトロン断層撮影	貯血式自己血輸血管理体制加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	自己クリオプレシペート作製術(用手法)
CT撮影及びMRI撮影	同種クリオプレシペート作製術
冠動脈CT撮影加算	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
血流予備量比コンピューター断層撮影	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
心臓MRI撮影加算	歯周組織再生誘導手術
乳房MRI撮影加算	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
頭部MRI撮影加算	麻酔管理料(Ⅰ)
全身MRI撮影加算	麻酔管理料(Ⅱ)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	放射線治療専任加算
外来化学療法加算1	外来放射線治療加算
無菌製剤処理料	高エネルギー放射線治療
連携充実加算	1回線量増加加算
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	強度変調放射線治療(IMRT)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	画像誘導放射線治療加算(IGRT)
廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	1回線量増加加算(前立腺照射)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算(その他のもの)
リハビリテーション総合計画評価料	直線加速器による定位放射線治療
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)(初期加算)	画像誘導密封小線源治療加算
がん患者リハビリテーション料	病理診断管理加算2

集団コミュニケーション療法料	悪性腫瘍病理組織標本加算
歯科口腔リハビリテーション料2	手術用顕微鏡加算
児童思春期精神科専門管理加算(通院・在宅精神療法)	口腔病理診断管理加算2
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	クラウン・ブリッジ維持管理料
医療保護入院等診療料	CAD/CAM冠
硬膜外自家注入	歯科矯正診断料
人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・前眼部三次元画像解析	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	・病理部省令検討会 12 回【病理部回答】 ・検査・輸血部省令検討会 75 回【検査・輸血部回答】
剖 検 の 状 況	剖検症例数 19 例 / 剖検率 9.5 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線治療患者における海馬機能強化法の樹立	石内 勝吾	脳神経外科学講座	10,500,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
造血細胞移植に関わる新たなアロ免疫認識機構の解明	森島 聡子	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	3,000,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
人工ペプチドによる生体制御システムの開発	松下 正之	分子・細胞生理学講座	6,000,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
腎近位尿管上皮細胞を足場とするレプトスピラの感染機構の解明	Toma Claudia	細菌学講座	5,500,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
硫化水素ガス吸入療法による脊髄虚血後運動神経保護効果のプロテオーム解析	垣花 学	麻酔科学講座	5,200,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
染色体に転移した外来性薬剤耐性遺伝子の薬剤耐性菌の世界的拡散におけるリスク評価	浜元 宏太	病態検査学講座	900,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
沖縄に多発する頭部血管肉腫の、多検体RNA発現解析による腫瘍特異蛋白の網羅的探索	内海 大介	皮膚科学講座	1,100,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
リーシュマニア症およびシャーガス病の感染・病態リスク評価系の構築	山本 雄一	皮膚科	200,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費(研究分担者)
分子ロボティクスによる糖尿病モデルマウス血糖値制御法の研究	野口 洋文	再生医学講座	2,800,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費(研究分担者)
乳歯歯髄細胞由来iPS細胞からのインスリン分泌β細胞の再生	野口 洋文	再生医学講座	150,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費(研究分担者)
Angptl2による新規マクロファージ活性化機構とその生理的意義の解明	海川 正人	医化学講座	0	⑦補委 日本学術振興会 科研費
ヒト卵子形成および胚発生における卵胞液中・血中脂肪酸の影響	銘苺 桂子	周産母子センター	0	⑦補委 日本学術振興会 科研費
積層化脂肪組織由来幹細胞シート移植による陈旧性顔面神経麻痺治療法の開発	清水 雄介	形成外科学講座	0	⑦補委 日本学術振興会 科研費
脳機能画像を用いた顔面神経麻痺の中核制御機構の解明と新規リハビリテーション開発	喜瀬 乗基	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	800,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費
細胞膜透過ペプチドによる舌癌を標的とした新規治療戦略の開発	圓谷 智之	分子・細胞生理学講座	1,100,000	⑦補委 日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
GABA伝達シグナルを介した神経障害性疼痛治療への挑戦	高山 千利	分子解剖学講座	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ErbB4受容体切断の統合失調症発症における役割の解明	仲嶺 三代美	生化学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新たなゲノム創薬手法による新規2型糖尿病治療標的の同定	今村 美菜子	先進ゲノム検査医学講座	700,000	補 委	日本学術振興会 科研費
潜伏感染ウイルスが関与するリンパ系腫瘍の発症と進展におけるHLAの意義の解明	森島 聡子	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	700,000	補 委	日本学術振興会 科研費
脂質メディエーターに着目した多発性嚢胞腎病態生理に基づく疾患特異的治療の開発	中西 浩一	育成医学講座	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
抑うつ性混合状態の定量的診断と生物学的背景の検討	近藤 毅	精神病態医学講座	900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
放射線照射による認知機能低下における高気圧酸素併用療法の神経保護作用機序の解明	片桐 千秋	脳神経外科学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ヒト乳頭腫ウイルス関連頭頸部癌の診断及び予後に関与するバイオマーカーの解明	鈴木 幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
DNA修復酵素遺伝子多型解析による頭頸部癌治療の効果予測	平川 仁	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
うつからの回避的な認知・行動パターンによるうつ病の再分類と治療アプローチの開発	甲田 宗良	精神病態医学講座	700,000	補 委	日本学術振興会 科研費
HPV関連癌に対する新規樹状細胞ワクチン治療の有効性の検証	上原 貴行	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
小児悪性軟部腫瘍におけるFOXM1と主要なシグナル伝達経路の標的分子としての評価	久田 正昭	第一外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科研費
コラーゲン遺伝子多型に着目した骨盤臓器脱高リスク発症群の選別化と早期リハビリ介入	芦刈 明日香	腎泌尿器外科	500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
インフルエンザ治療薬のシアリダーゼ阻害効果に着目した腎細胞癌の新規治療法の開発	泉 恵一朗	腎泌尿器外科	800,000	補 委	日本学術振興会 科研費
赤血球型マalaria感染における記憶B細胞維持の場の可視化	岸本 英博	寄生虫・免疫病因病態学講座	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新規高度Env発現組換えワクシニアウイルスワクチンによるHTLV-I感染制御	高橋 良明	免疫学講座	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
腫瘍壊死因子から見た難治性うつ病性障害の病態解明とその治療戦略について	三原 一雄	精神病態医学講座	500,000	補委	日本学術振興会 科研費
脊髄におけるGABAの放出及びその抑制性応答と胎児期の運動機能発達との関連	清水 千草	分子解剖学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会 科研費
有棘細胞癌の新規癌幹細胞マーカーの探索	武居 公子	医化学講座	900,000	補委	日本学術振興会 科研費
膵β細胞の分化誘導を促進する培養方法の開発	中島 義基	再生医学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
骨成長因子・骨再生材料を用いた唇顎口蓋裂患者の顎裂部骨移植術の臨床的研究	西原 一秀	顎顔面口腔機能再建学講座	700,000	補委	日本学術振興会 科研費
口腔癌擦過細胞のマイクロRNA解析による後発頸部リンパ節転移予測マーカーの確立	新崎 章	顎顔面口腔機能再建学講座	1,700,000	補委	日本学術振興会 科研費
加齢による排尿障害を克服、neuromodulationによる血流増加と尿道機能	大城 琢磨	腎泌尿器外科学講座	400,000	補委	日本学術振興会 科研費
加齢による過活動膀胱に対する新しい低出力体外衝撃波システムの確立	宮里 実	腎泌尿器外科学講座	500,000	補委	日本学術振興会 科研費
脳機能ネットワークの観点から行うPusher現象の病態解析と新規治療法の開発	西村 正彦	脳神経外科学講座	700,000	補委	日本学術振興会 科研費
肥満後の急激な減量に伴う食嗜好性変容の脳内分子メカニズム	岡本 士毅	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
多発家系iPS細胞による双極性障害細胞モデルの開発と原因変異の探索	高松 岳矢	分子・細胞生理学講座	1,600,000	補委	日本学術振興会 科研費
ダイヤモンド・ブラックファン貧血のリボソームタンパク質リン酸化による造血制御解析	鳥原 英嗣	生化学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会 科研費
紫外線暴露による高プロスタノイド環境の皮膚で、HTLV1感染細胞が腫瘍化する機序	宮城 拓也	皮膚科学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
腸内細菌叢に着目した食物アレルギー寛解機序の解明	浜田 和弥	育成医学講座	1,000,000	補委	日本学術振興会 科研費
HPVによる喉頭乳頭腫形成機構:増殖制御と免疫回避システムからのアプローチ	池上 太郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	800,000	補委	日本学術振興会 科研費
上咽頭癌におけるリゾフォスファチジン酸受容体5の発現解析	又吉 宣	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒト皮膚の部位特異性を決定する遺伝子クラスター解析による限局性皮膚症の病態解明	山本 雄一	皮膚科	800,000	補 委	日本学術振興会 科研費
抗癌剤耐性高分化型口腔癌に対するEphA4を標的とした分子生学的メカニズムの解明	仲宗根 敏幸	歯科口腔外科	800,000	補 委	日本学術振興会 科研費
がん患者の死前喘鳴に対する薬物療法の効果を推定するための全国レジストリ研究	中島 信久	地域医療部	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
脳機能画像を応用した経頭蓋直流刺激による音声障害・嚥下障害の治療	喜友名 朝則	耳鼻咽喉科	600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
頭頸部領域のヒト乳頭腫ウイルス受容体の解析	金城 秀俊	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委	日本学術振興会 科研費
糖尿病性膀胱機能障害への磁気刺激神経調整的新システムの確立-基礎・臨床的検討	木村 隆	腎泌尿器外科	400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
CBP/p300依存性EGFRシグナリングを利用した皮膚恒常性維持制御法の開発	市瀬 多恵子	分子解剖学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会 科研費
遺伝子工学的手法による乳歯歯髄細胞からの体性幹細胞単離とその特性解析	野口 洋文	再生医学講座	50,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
男性ホルモン補充に起因する虚血性心血管疾患に対する生体内NO量制御の有用性の検証	松崎 俊博 筒井 正人	薬理学講座	100,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
4次元呼吸ダイナミックCTを用いた間質性肺炎における局所呼吸運動・病態解析	山城 恒雄	放射線科	100,000	補 委	日本学術振興会 科研費(研究分担者)
尿バイオマーカーによる小児紫斑病性腎炎新規診断法の開発	中西 浩一	育成医学講座	100,000	補 委	日本学術振興会 科研費
沖縄に残るハンセン病既存検体を用いた遺伝子発現解析による各病型の発症機序の解明	林 健太郎	皮膚科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
沖縄県における成人T細胞白血病/リンパ腫のゲノム解析	崎浜 秀悟	細胞病理学講座	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科研費
硫化水素による褥瘡治療効果の検討	渡邊 洋平	麻酔科学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科研費
バイオ医薬品の有効性・安全性に関わる因子の検討	中村 克徳	薬剤部	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科研費
HTLV-1ウイルス遺伝子産物の組織内同定法の開発とその病理学的意義の解明	加留部 謙之輔	細胞病理学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
宮古島のHHV8にみられる遺伝子変異の意義	大野 真治	ウイルス学講座	1,100,000	補	日本学術振興会 科研費
MRIとテクスチャー解析を応用した腎線維化の低侵襲的定量評価法の開発	石神 康生	放射線診断治療学講座	1,700,000	補	日本学術振興会 科研費
4D flow MRIによる肺高血圧症の早期発見と治療効果判定法の開発	村山 貞之	放射線診断治療学講座	800,000	補	日本学術振興会 科研費
ATLにおける制御性T細胞の選択的な増殖機構: OX40L/OX40に着目して	水口 真理子	免疫学講座	1,500,000	補	日本学術振興会 科研費
脂肪幹細胞由来神経細胞による胸腹部大動脈術後虚血性対麻痺に対する新規治療法の開発	清水 雄介	形成外科学講座	1,000,000	補	日本学術振興会 科研費
新規ウイルス投与方法によるALS局所モデルと治療法の探索:TDP43断片化の病理	神里 興太	麻酔科学講座	1,000,000	補	日本学術振興会 科研費
診療の質指標の評価結果のフィードバックで、大腸がん診療の質の格差を解消できるか?	増田 昌人	がんセンター	1,000,000	補	日本学術振興会 科研費
手術のためのバーチャルリアリティ変形性物理シミュレーション・システムの開発	宮城 智央	脳神経外科	1,200,000	補	日本学術振興会 科研費
成人T細胞性白血病リンパ腫におけるSTAT3活性化とインターフェロン療法の関連性	森近 一穂	内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座	1,600,000	補	日本学術振興会 科研費
頭頸部癌における癌幹細胞マーカーの同定	近藤 俊輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	700,000	補	日本学術振興会 科研費
先天性頭部疾患におけるヒト乳頭腫ウイルス感染	上里 迅	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	日本学術振興会 科研費
鼻副鼻腔内反性乳頭腫の診断、再発、悪性転化のバイオマーカー探索と機序の解明	山下 懐	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	1,000,000	補	日本学術振興会 科研費
沖縄に多発する頭部血管肉腫の、多検体RNA発現解析による腫瘍特異蛋白の網羅的探索	内海 大介	皮膚科学講座	1,100,000	補	日本学術振興会 科研費
小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・研究体制の確立	中西 浩一	育成医学講座	600,000	補	厚生労働省 科研費(研究分担者)
成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究	藤田 次郎	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	400,000	補	厚生労働省 科研費(研究分担者)
がん対策の進捗管理のための指標と測定の継続的な発展に向けた研究	増田 昌人	がんセンター	500,000	補	厚生労働省 科研費(研究分担者)



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
難治性聴覚障害に関する調査研究	鈴木 幹男	耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	500,000	①補委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
特発性大腿骨壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	仲宗根 哲	整形外科科学講座	200,000	①補委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究	健山 正男	感染症・呼吸器・消化器内科学講座	1,200,000	①補委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	石原 聡	循環器・腎臓・神経内科学講座	350,000	①補委	厚生労働省 科研費(研究分担者)
平成31年度沖縄県地域医療支援センター運営事業	大屋 祐輔	沖縄県地域医療支援センター	31,966,231	①補委	沖縄県
沖縄県肝疾患診療連携拠点病院事業	前城 達次	第一内科	12,538,000	①補委	沖縄県
平成31年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	前城 達次	第一内科	833,000	①補委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
平成31年度HIV感染者等保健福祉相談事業	健山 正男	第一内科	750,000	①補委	公益財団法人 エイズ予防財団
沖縄県エイズ治療拠点病院研修委託	健山 正男	第一内科	916,666	①補委	沖縄県
沖縄県感染症診療ネットワークコーディネーター配置委託	健山 正男	第一内科	4,675,000	①補委	沖縄県
沖縄県認知症疾患医療センター事業	近藤 毅	認知症疾患医療センター	8,074,000	①補委	沖縄県
沖縄県難病医療提供体制整備事業	大嶺 千代美	看護部	6,196,000	①補委	沖縄県
難病指定医研修事業	大嶺 千代美	看護部	730,000	①補委	沖縄県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
看護師の特定行為研修における指定研修機関の運営に関するデータ収集事業	大屋 祐輔	総合臨床研修・教育センター	1,351,502	補委	厚生労働省
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(地域医療関連講座設置事業)	大屋 祐輔	病院長	14,748,000	補委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(救急から提案する高齢者地域包括医療(高齢者施設と救急の連携支援事業)	久木田 一朗	救急部	1,005,000	補委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(指導医育成プロジェクト事業)	武村 克哉	地域医療部	4,161,000	補委	沖縄県
感染症予防事業費等国庫負担(補助)金(がん診療連携拠点病院機能強化事業)	増田 昌人	がんセンター	56,906,000	補委	厚生労働省
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(がん診療連携拠点病院等の患者に対する歯科保健医療推進事業)	西原 一秀	歯科口腔外科	3,002,000	補委	沖縄県
感染症指定医療機関運営費補助金	宮城 一也	第一内科	5,600,000	補委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(令和元年度 沖縄県新人看護職員研修事業)	大嶺 千代美	看護部	1,404,000	補委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(沖縄県地域医療介護総合確保基金事業(認定看護師・特定行為研修支援)	大嶺 千代美	看護部	14,196,000	補委	沖縄県
防災訓練等参加支援事業(令和元年度防災訓練等参加支援事業)	大屋 祐輔	病院長	404,000	補委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業	大屋 祐輔	病院長	348,572,000	補委	沖縄県
ヘリコプター等添乗医師等派遣協力病院支援事業	大屋 祐輔	病院長	1,040,000	補委	沖縄県
地域災害拠点病院設備整備事業	久木田 一朗	救急部	700,000	補委	沖縄県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
NBC災害・テロ対策設備整備事業	久木田 一朗	救急部	4,850,340	補 委	沖縄県
沖縄県地域医療介護総合確保基金事業 (特定行為研修機関支援事業)	大屋 祐輔	キャリア形成支援センター	789,000	補 委	沖縄県
医師臨床研修費等補助金	大屋 祐輔	総合臨床研修・教育センター	10,616,000	補 委	沖縄県
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	池宮城 秀一	第三内科	546,000	補 委	日本医療研究開発機構
国際展開をふまえた新規バイオマーカーを用いたスコア法によるIgA腎症早期発見・早期診断を介した透析移行ゼロ化に向け	古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	325,000	補 委	日本医療研究開発機構
HAMの治療薬開発を促進する代替エンドポイントとしてのバイオマーカーの実用化研究	崎間 洋邦	第三内科	390,000	補 委	日本医療研究開発機構
プロポフォール、レミフェンタニル及びロクロニウムを使用して全身麻酔を受ける患者を対象とした静脈麻酔薬自動調節ソフトウェア	垣花 学	麻酔科	4,615,385	補 委	国立大学法人福井大学
慢性腎臓病重症化予防のための多職種連携ビジュアルツールの開発	古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	5,000,000	補 委	公益財団法人沖縄科学技術振興センター(沖縄)
沖縄県地域統括相談支援センター事業	増田 昌人	がんセンター	8,867,910	補 委	沖縄県
沖縄県がん患者等支援事業	増田 昌人	がんセンター	9,000,000	補 委	沖縄県

計 115

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nahar S, Hokama A, Fujita J.	第一内科	Clinical significance of cytomegalovirus and other herpes virus infections in ulcerative colitis.	Polish Archives of Internal Medicine. 2019 Sep 30;129(9):620-626.	Review
2	Kami W, Kinjo T, Miyagi K, et al.	第一内科	Development of Lung Emphysema Due to APRV.	Internal Medicine. 2019 Oct 15;58(20):3061.	Case report
3	Fujita J.	第一内科	Introducing the new anti-influenza drug, baloxavir marboxil.	Respiratory Investigation. 2020 Jan;58(1):1-3.	Original Article
4	Uechi K, Tada T, Shimada K, et al.	第一内科	Emergence of a carbapenem-resistant and colistin-heteroresistant Enterobacter cloacae clinical isolate in Japan.	Journal of Infection and Chemotherapy. 2019 Apr;25(4):285-288.	Original Article
5	Shibahara D, Furugen M, Kasashima S, et al.	第一内科	Radiation-induced sarcoma in a 10-year survivor with stage IV EGFR-mutated lung adenocarcinoma.	Respiratory Medicine Case Reports. 2019 Jun 18;28:100889.	Case report
6	Hashioka H, Kinjo T, Shinzato A, et al.	第一内科	Spontaneous Pneumomediastinum in a Previously Healthy Patient.	Internal Medicine. 2019 Oct 15;58(20):3063.	Case report
7	Shibahara D, Yamaniha K, Hashioka H, et al.	第一内科	Mondor's Disease of the Chest Wall.	Internal Medicine. 2019 Nov 15;58(22):3349.	Case report
8	Iraha A, Koga E, Ohira T, et al.	第一内科	The clover sign of internal fistulas in Crohn disease.	Polish Archives of Internal Medicine. 2019 Oct 30;129(10):707-708.	Case report
9	Tomiyama R, Hokama A, Koga E, et al.	第一内科	Stroke and neck bruit in a boy with Crohn's disease.	Intestinal Research. 2019 Oct;17(4):565-566.	Case report
10	Fujita J.	第一内科	Immune reconstitution inflammatory syndrome in the lung in non-human immunodeficiency virus patients.	Respiratory Investigation. 2020 Jan;58(1):36-44.	Original Article
11	Nabeya D, Kinjo T, Parrott GL, et al.	第一内科	Chest Computed Tomography Abnormalities and Their Relationship to the Clinical Manifestation of Respiratory Syncytial Virus Infection in a Genetically Confirmed Outbreak.	Internal Medicine. 2020 Jan 15;59(2):247-252.	Original Article
12	Yamauchi M, Kinjo T, Parrott G, et al.	第一内科	Diagnostic performance of serum interferon gamma, matrix metalloproteinases, and periostin measurements for pulmonary tuberculosis in Japanese patients with pneumonia.	PLoS One. 2020 Jan 9;15(1):e0227636.	Original Article
13	Morichika K, Karube K, Kayo H, et al.	第二内科	Phosphorylated STAT3 Expression Predicts Better Prognosis in Smoldering Type of Adult T-cell Leukemia/Lymphoma	Cancer Sci. 2019 Sep;110(9):2982-2991.	Original Article

14	Hokama N, Shirakura T, Sunagawa S, et al.	第二内科	A Pilot Assessment of Xanthine Oxidase Activity in Plasma From Patients With Hematological Malignancies Using a Highly Sensitive Assay	Hematol Oncol. 2019 Oct;37(4):527-530.	Original Article
15	Millman J, Okamoto S, Kimura A, et al.	第二内科	Metabolically and Immunologically Beneficial Impact of Extra Virgin Olive and Flaxseed Oils on Composition of Gut Microbiota in Mice	Eur J Nutr. 2019 Sep 10. doi: 10.1007/s00394-019-02088-0. Online (オンライン).	Original Article
16	Nishi Y, Murakami A, Murayama Y, et al.	第二内科	Adipose Tissue-Derived Mesenchymal Stem Cells Ameliorate Bone Marrow Aplasia Related With Graft-Versus-Host Disease in Experimental Murine Models	Transpl Immunol. 2019 Aug;55:101205.	Original Article
17	Tomori S, Morishima S, Nishi Y, et al.	第二内科	Transplant-related Complications Are Impediments to the Success of Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Adult T Cell Leukemia Patients in Non-Complete Remission	Bone Marrow Transplant. 2020 Jan;55(1):233-241.	Original Article
18	Ishida A, Kinjo K, Maeda T, et al.	第三内科	Association between high-normal ankle-brachial index and hypertension incidence: the Okinawa Peripheral Arterial Disease Study.	J Hypertens. 2019 May;37(5):935-941	Original Article
19	Yamashiro S, Arakaki R, Kise Y, et al	第二外科	Changes in the surgical strategy for mycotic thoracic aortic aneurysms: the potential role of omental wrapping to prevent infection after thoracic endovascular aortic repair.	Chirurgia. 2019 December;32:318-323.	Original Article
20	Yuya Kise, Yukio Kuniyoshi, Mizuki Ando, et al.	第二外科	Transapical Aortic Perfusion Using a Deep Hypothermic Procedure During Descending Thoracic or Thoracoabdominal Aortic Surgery	J Cardiovasc Surg (Torino) . 2019 Dec;60(6):749-754.	Original Article
21	Yuya Kise, Yukio Kuniyoshi, Mizuki Ando, et al.	第二外科	Direct Monitoring of Reconstructed Segmental Arterial Pressure during Deep Hypothermic Thoracoabdominal Aortic Aneurysm Surgery	Ann Vasc Dis. 2019 Dec 25; 12(4): 537-540.	Case report
22	Miyagi T, Kuninaka T, Kinjo K et al.	脳神経外科	Developing a real-time physically deformable neurosurgical virtual reality simulation system based on clinical case data.	Journal of the Japan Society for Simulation Surgery. 2019 June;27(1):19-23	Original Article
23	Oshiro H, Tome Y, Kiyuna T, et al.	整形外科	Temozolomide targets and arrests a doxorubicin-resistant follicular dendritic-cell sarcoma patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Tissue and Cell 2019 Jun; 58: 17-23.	Original Article
24	Kiyuna T, Tome Y, Miyake K, et al.	整形外科	Eribulin suppressed cisplatin- and doxorubicin-resistant recurrent lung metastatic osteosarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Anticancer Research. 2019 Sep; 39(9):4775-79.	Original Article
25	Oshiro H, Tome Y, Kiyuna T, et al.	整形外科	Oral recombinant methioninase overcomes colorectal-cancer liver metastasis resistance to the combination of 5-fluorouracil and oxaliplatin in a patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Anticancer Research 2019 Sep; 39(9):4667-71.	Original Article
26	Okubo H, Nakasone M, Kinjo M, et al.	整形外科	Epidemiology of Paediatric Elbow Fractures: A Retrospective Multi-Centre Study of 488 Fractures	Journal of Children's Orthopedics 2019 Oct 1;13(5):516-521.	Original Article
27	Arakaki Y, Nakasone T, Kinjo Y, et al.	産科婦人科	Surgical site infection in patients with endometrial cancer undergoing surgery.	Eur J Gynaecol Oncol 40; 599-602 2019 Aug. doi: 10.12892/ejgo4501.2019	Original Article
28	Miyagi M, Kinjo T, Mearu K, et al.	産科婦人科	Massive subchorionic thrombohematoma (Breus' mole) associated with fetal growth restriction, oligohydramnios, and intrauterine fetal death.	Case Rep Obstet Gynecol Volume 2019 Apr, Article ID 9510936, 3 pages	Case report

29	Kinjo T, Mekaru K, Nakada M, et al.	産科婦人科	A case of Cornelia de Lange syndrome: Difficulty in prenatal diagnosis.	Case Rep Obstet Gynecol Volume 2019 May, Article ID 4530491,	Case report
30	Nakasone T, Nakamoto T, Shimoji Y, et al.	産科婦人科	Direct evidence for efficacy of GnRH agonist in recurrent steroid cell tumor-not otherwise specified.	Gynecol Oncol Rep 29; 73-75: 2019 Jul	Case report
31	Taira Y, Aoki Y.	産科婦人科	Tube-ovarian abscess caused by Rothia aeria.	BMJ Case Rep 2019 Aug;12:e229017	Case report
32	Ohki Y, Yamada H, Taira Y, et al.	産科婦人科	Methotrexate-induced hemothorax in a woman with low-risk metastatic gestational trophoblastic disease	Gynecol Oncol Rep 2019 Nov; 30 (2019) 100517.	Case report
33	Miyagi M, Mekaru K, Oishi S, et al.	産科婦人科	Silicone plate for prevention of postoperative adhesions in patients with Asherman syndrome.	Case Rep Obstet Gynecol 2019 Nov; Article ID 5420837	Case report
34	Kinjo Y, Kinjo T, Mekaru K, et al.	産科婦人科	Development of vaginal pseudoaneurysm 3 years after cesarean section possibly induced by anticoagulant and antiplatelet therapies.	Case Rep Obstet Gynecol 2020 March; ID 6196575	Case report
35	Chinen Y, Nakamura S, Kaneshi T, et al.	小児科	A novel nonsense SMC1A mutation in a patient with intractable epilepsy and cardiac malformation.	Human Genome Variation. 2019 May ; 13: 6: 23. doi: 10.1038/s41439-019-0053-y.	Case report
36	Hyakuna N, Hashii Y, Ishida H, et al.	小児科	Retrospective analysis of children with high-risk acute myeloid leukemia who underwent allogeneic hematopoietic stem cell transplantation following complete remission with initial induction chemotherapy in the AML-05 clinical trial	Pediatric Blood Cancer. 2019 Oct 66: doi:10.1002/pbc.27875	Original Article
37	Ito M, Yamaguchi S, Omine T, et al.	皮膚科	Behavioral therapy ceased cold water immersion dependence in a patient with familial erythromelalgia caused by SCN9A mutation.	Journal of the American Academy Dermatology case Reports 2019 Sep; 5(9): 806-808.	Case report
38	Kaneshima A, Yamaguchi S, Miyagi T, et al.	皮膚科	Extracellular signal-regulated kinase activation of self-healing Langerhans cell histiocytosis.	The Journal of Dermatol 2019 Sep;46(9):812-815.	Case report
39	Hanashiro F, Yamaguchi S, Awazawa R, et al.	皮膚科	Cutaneous phaeoerythromycosis caused by Microspora arundinis in a Japanese patient with cardiac sarcoidosis.	The Journal of Dermatol. 2019 May;46(5):e170-e172.	Case report
40	Yamaguchi S.	皮膚科	Endangered Zoonotic Fungal Species from Chicken (Gallus gallus domestics).	Medical Mycology Journal 2019 May;60(2):45-49	Review
41	Nakanishi S, Nishida S, Miyazato M, et al.	腎泌尿器外科	A case report of nivolumab-induced myasthenia gravis and myositis in a metastatic renal cell carcinoma patient.	Urology Case Report 2019 Dec 14; 29: 101105.	Case report
42	Yonamine T, Kaname T, Chinen Y, et al.	腎泌尿器外科	Hereditary leiomyomatosis and renal cell cancer (HLRCC). A case report.	Urology Case Report 2020 Feb 26; 30:101141.	Case report
43	Yamashita Y, Ikegami T, Suzuki M, et al.	耳鼻咽喉科	Hypopharyngeal cancer risk in Japanese: Genetic polymorphisms related to the metabolism of alcohol- and tobacco-associated carcinogens.	Journal of cancer research and therapeutics. 2019 Jul-Sep;15(3):556-563.	Original Article

44	Ganaha A, Kaname T, Yanagi K, et al.	耳鼻咽喉科	Clinical characteristics with long-term follow-up of four Okinawan families with moderate hearing loss caused by an OTOG variant.	Human genome variation. 2019 Aug 13;6:37.	Original Article
45	Hirakawa H, Ikegami T, Azechi S, et al.	耳鼻咽喉科	ERCC1 C8092A Polymorphism Predicts Fair Survival Outcome in Japanese Patients With Pharyngo-Laryngeal Squamous Cell Carcinoma.	European archives of otorhino-laryngology. 2020 Feb;277(2):601-610.	Original Article
46	Enoki H, Koda M, Nishimura S, Kondo T	精神科神経科	Effects of attitudes towards ambiguity on subclinical depression and anxiety in healthy individuals.	Health Psychol Open 5; 6(1), 2019 Apr. doi:10.1177/2055102919840619	Original Article
47	Shinzato H, Koda M, Nakamura A, Kondo T	精神科神経科	Development of the 12-item questionnaire for quantitative assessment of depressive mixed state (DMX-12).	Neuropsychiatr Dis Treat 15: 1983-1991, 2019 Jul. doi: 10.2147/NDT.S215478.	Original Article
48	Yamashiro T, Moriya H, Tsubakimoto M, et al.	放射線科	Preoperative assessment of parietal pleural invasion/adhesion of subpleural lung cancer: advantage of software-assisted analysis using 4-dimensional dynamic-ventilation Computed tomography.	European Radiology. 2019 Oct;29(10): 5247-5252.	Original Article
49	Xu Y, Yamashiro T, Moriya H, et al.	放射線科	Quantitative Emphysema Measurement On Ultra-High-Resolution CT Scans.	International Journal of Chronic Obstructive Pulmonary Disease. 2019 Oct; 14: 2283-2290.	Original Article
50	Makino W, Heianna J, Toguchi M, et al.	放射線科	Transcatheter arterial embolization for relapsed spinal metastatic paraganglioma: A case report.	Radiology Case Reports. 2019 Aug 24;14(8): 926-929.	Case report
51	Nakamata A, Yogi A, Harakuni T, et al.	放射線科	Symptomatic jugular venous reflux with dilatation of the superior ophthalmic vein mimicking cavernous dural arteriovenous fistula.	Radiology Case Reports. 2019 Sep 18;25(9): 1167-1170,	Case report
52	Maemoto H, Ishigami K, Iraha S, et al.	放射線科	Analyses of size and computed tomography densitometry parameters for prediction of keloid recurrence after postoperative electron beam radiation therapy.	Skin research and technology. 2020 Jan; 26(1): 125-131.	Original Article
53	Heianna J, Makino W, Ariga T, et al.	放射線科	Concomitant radiotherapy and transarterial chemoembolization reduce skeletal-related events related to bone metastases from renal cell carcinoma.	European Radiology. 2020 Mar;30(3): 1525-1533.	Original Article
54	Yamashiro T, Moriya H, Tsubakimoto M, et al.	放射線科	Preoperative assessment of parietal pleural invasion/adhesion of subpleural lung cancer: advantage of software-assisted analysis of 4-dimensional dynamic-ventilation computed tomography.	European Radiology. 2019 Oct;29(10): 5247-5252.	Original Article
55	Toguchi M, Iraha Y, Ito J, et al.	放射線科	Uterine artery embolization for postpartum and postabortion hemorrhage: a retrospective analysis of complications, subsequent fertility and pregnancy outcomes.	Japanese journal of radiology. 2020 Mar;38(3):240-247.	Original Article
56	Tsuchiya N, Griffin L, Yabuuchi H, et al.	放射線科	Imaging findings of pulmonary edema: Part 1. Cardiogenic pulmonary edema and acute respiratory distress syndrome.	Acta radiologica. 2020 Feb;61(2): 184-194.	Review
57	Tsuchiya N, Griffin L, Yamashiro T, et al.	放射線科	Imaging findings of pulmonary edema: Part 2. Infrequent or unusual pulmonary edema with definitive imaging findings.	Acta radiologica. 2020 Feb; 61(2): 195-203.	Review
58	Kina S, Nakasone T, Kinjo T, et al.	歯科口腔外科	Outcomes after up-front surgery and metronomic neoadjuvant chemotherapy with S-1 or UFT for early tongue squamous cell carcinoma.	Clin Oral Investig 2019 Jun	Original Article

59	Maruyama N, Sasaki T, Arasaki A, et al.	歯科口腔外科	Thymoma appearing 9 years after the resection of squamous cell carcinoma of the lip: A case report of triple primary tumors and literature review.	Oncology letters 2019 Sep	Case report
60	Maruyama N, Shimizu Y, Nakaema M, et al.	歯科口腔外科	Case Report Early computed tomography for detection of internal jugular vein thrombosis after neck dissection and/or reconstruction surgery for head and neck cancer patients.	International Journal of Clinical and Experimental Medicine. 2019 Apr	Case report
61	Karube K, Feldman AL.	病理診断科	"Double-hit" of DUSP22 and TP63 Rearrangements in Anaplastic Large Cell Lymphoma, ALK-negative	Blood. 2020 Feb 27;135(9):700.	Case report
62	Karube K, Todoroki J.	病理診断科	Sinus-confined involvement pattern of mantle cell lymphoma.	Int J Hematol. 2019 Sep;110(3):263-264.	Case report
63	Kuniyoshi S, Miki Y, Sasaki A et al.	腫瘍病理学講座	The Significance of Lipid Accumulation in Breast Carcinoma Cells Through Perilipin 2 and Its Clinicopathological Significance	Pathol Int. 2019 Aug;69(8):463-471.	Original Article
64	Nakajima N	地域医療部	Effectiveness of Rapid Titration With Intravenous Administration of Oxycodone Injection in Advanced Cancer Patients With Severe Pain	Jpn J Clin Oncol . 2019 Dec 18;49(11):1061-1064.	Original Article
65	Tatsuma Fukuda, Naoko Ohashi-Fukuda, kei Hayashida. et al.	救急部	Association of bystander cardiopulmonary resuscitation and neurological outcome after out-of-hospital cardiac arrest due to drowning in Japan, 2013-2016.	Resuscitation. 2019 Aug;141:111-120.	Original Article
66	Fukuda T, Ohashi-Fukuda N, Hayashida K. et al.	救急部	Bystander-initiated conventional vs compression-only cardiopulmonary resuscitation and outcomes after out-of-hospital cardiac arrest due to drowning.	Resuscitation. 2019 Dec;145:166-174	Original Article
67	Hiroshi Sekiguchi, Yutaka Kondo, Tatsuma Fukuda. et al.	救急部	Noninvasive positive pressure ventilation for treating acute asthmatic attacks in three pregnant women with dyspnea and hypoxemia.	Clinical Case Reports 2019 May;7(5) 881-887	Case report
68	Takayuki Taira, Tatsuya Fuchigami, Misuzu Hayashi. et al.	救急部	Open Access Usefulness of INTELLiVENT-ASV for postoperative ventilator-associated pneumonia: a case report.	A Clinical Reports 2019. June;5:42	Case report
69	Kohagura K, furuichi K, Kochi M, et al	血液浄化療法部	Amplified Association Between Blood Pressure and Albuminuria Overweight Patients With Biopsy-Proven Hypertensive Nephrosclerosis.	American Journal of Hypertension. 2019 Apr 22;32(5) : 486-491.	Original Article
70	Kohagura K, Yamasaki T, Takano T, et al	血液浄化療法部	Luseoglilozin, a sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor, preserves renal function irrespective of acute changes in the estimated glomerular filtration rate in Japanese patients with type 2 diabetes	Hypertension research 2020 Feb 20. online	Original Article
71	Hokama A, Sonosaki T, Zamami R, et al.	光学医療診療部	Crohn disease complicated by IgA vasculitis during therapy with tumor necrosis factor- $\alpha$ inhibitor.	Polish Archives of Internal Medicine. 2019 Apr 30;129(4):283-284.	Case report
72	Hokama A, Haranaga S, Sasaki T, et al.	光学医療診療部	A Pulmonary Nodule in a Patient With Crohn's Disease	Intestinal Research. 2019 Jul;17(3):438-439.	Case report
73	Hokama A, Oshiro T, Tomisato K, et al.	光学医療診療部	Gastric anisakidosis: an unfavorable taste of sushi.	Polish Archives of Internal Medicine. 2019 Aug 29;129(7-8):547-548.	Case report
74	Hokama A, Tabata S, Tanaka T, et al.	光学医療診療部	Coffee bean sign, beak-shaped transition point, and endoscopic whirl sign of huge sigmoid volvulus in intestinal neuronal dysplasia.	Polish Archives of Internal Medicine. 2019 Sep 30;129(9):634-635.	Case report
75	Tabata S, Miyazato K, Hoshino K, et al.	光学医療診療部	Diagnosis of Lemmel's syndrome by air insufflation during endoscopy.	Polish Archives of Internal Medicine. 2020 Jan 31;130(1):66-67.	Case report



76	Ohira T, Iraha A, Kinjo T, et al.	光学医療診療部	Jejunal Diverticulosis	Korean Journal of Internal Medicine. 2020 Jan;35(1):249.	Case report
----	-----------------------------------	---------	------------------------	--	-------------

- (注)
- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
  - 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
  - 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、または et al.とする。
  - 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
  - 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
  - 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 琉球大学人を対象とする医学系研究に係る標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 目的、マネジメント委員会の設置、利益相反アドバイザー・利益相反カウンセラーの設置、利益相反マネジメントの手続き、外部からの指摘への対応、秘密保持 等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の基本（臨床研究、こんなときどうしたら？） 倫理委員会の視点から、臨床研究の被験者保護と科学性を考える	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

本院の「病める人の立場に立った質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。」という理念のもとに、各診療科において専門的な分野の症例等に対する知識や技術、関連学会が定める専門医の資格取得に関する研修及び教育を実施している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	612.80人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
藤田 次郎	第一内科	教授	39年	
益崎 裕章	第二内科	教授	28年	
森島 聡子	第二内科	准教授	25年	
土井 基継	第二内科	助教	12年	
岩淵 成志	第三内科	准教授	34年	
石田 明夫	第三内科	講師	27年	
山里 正演	第三内科	助教	26年	
崎間 洋邦	第三内科	助教	17年	
池宮城 秀一	第三内科	助教	17年	
當間 裕一郎	第三内科	助教	16年	
高槻 光寿	第一・二外科	教授	25年	
石内 勝吾	脳神経外科	教授	35年	
西田 康太郎	整形外科	教授	28年	
當銘 保則	整形外科	准教授	19年	
神谷 武志	整形外科	講師	22年	
東 千夏	整形外科	講師	21年	
仲宗根 哲	整形外科	講師	21年	
金城 政樹	整形外科	診療講師	23年	
大久 保宏貴	整形外科	助教	19年	
石原 昌人	整形外科	助教	18年	
島袋 孝尚	整形外科	助教	18年	
青木 陽一	産科婦人科	教授	36年	
金城 忠嗣	産科婦人科	講師	20年	
銘苺 桂子	産科婦人科	教授	21年	
中西 浩一	小児科	教授	31年	
高橋 健造	皮膚科	教授	34年	
山口 さやか	皮膚科	講師	16年	
宮城 拓也	皮膚科	助教	13年	

新嘉喜 長	皮膚科	助教	16年
林 健太郎	皮膚科	助教	13年
斎藤 誠一	腎泌尿器外科	教授	36年
鈴木 幹男	耳鼻咽喉科	教授	34年
古泉 英貴	眼科	教授	22年
山内 遵秀	眼科	助教	17年
新垣 淑邦	眼科	助教	21年
近藤 毅	精神科神経科	教授	37年
村山貞之	放射線科	教授	40年
中村 博幸	歯科口腔外科	教授	20年
吉見 直己	病理診断科	病理部長	31年
久木田 一郎	救急部	救急部長	33年
古波蔵 健太郎	血液浄化療法部	准教授	27年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 生命維持管理装置他 医療機器 別紙（1）（ME機器センター）</li><li>・研修の期間・実施回数 31/4/1～3/31 107回</li><li>・研修の参加人数 1480名</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：放射線安全講習会：放射線の安全な取り扱いについて（放射線部）</li><li>・研修の期間・実施回数：2019年4月15日・1回と電子カルテ研修システムによるe-learning</li><li>・研修の参加人数：200人</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：肝移植導入にあたり、長崎大学病院への手術見学（第一外科）</li><li>・研修の期間・実施回数：2019年12月19日、2020年2月3日 の2回</li><li>・研修の参加人数：2019年12月19日は4人（ORおよびICUナース） 2020年2月3日は4人ORナースおよび臨床工学技士）</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 沖縄県在宅褥瘡セミナー（褥瘡の治療・栄養管理・予防管理 等）（皮膚科）</li><li>・研修の期間・実施回数 1日・1回</li><li>・研修の参加人数 139人</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 看護師特定行為研修講義（皮膚とリンパ節）（皮膚科）</li><li>・研修の期間・実施回数 1日・1回</li><li>・研修の参加人数 5人</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：放射線治療に関する幅広い知識の習得（放射線科）</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の期間・実施回数：週に1回、30分程度</li> <li>・研修の参加人数：看護師1-2人、診療放射線技師5-6人</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容 看護師特定行為研修（麻酔科）</li> <li>・研修の期間・実施回数 2日間 x 2回</li> <li>・研修の参加人数 10人</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：口腔ケア（リンクナース研修会：看護師対象）（歯科口腔外科）</li> <li>・研修の期間・実施回数：平成31年4月～令和2年3月、12回</li> <li>・研修の参加人数：14人</li> </ul>
<p>【看護部】</p> <p>教育理念・教育方針のもと、毎年院内教育計画を策定し、別紙（2）のとおり実施している。</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容：医療機器の安全使用に関する研修（放射線部）</li> <li>・研修の期間・実施回数：新人技師やそのモダリティを初めて担当する前にその都度実施</li> <li>・研修の参加人数：新人技師と初めて担当する技師</li> </ul>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の主な内容</li> <li>・研修の期間・実施回数</li> <li>・研修の参加人数</li> </ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

機器分類	原理・取扱 保守点検・安全性 新規導入	研修・講習会内容	座学・実技	場所	対象	月日	時間	人数	講師
1	その他	新規採用職員オリエンテーション	座学	臨床講義棟2階 大講義室	新規採用職員	4月1日	8:00~17:15	90	西山 毅 (臨床工学室)
2	その他	内視鏡室向け講習会 高周波焼灼電源装置	座学・実技	内視鏡室	新人看護師	4月1日	11:00~11:30	1	西俣 友博 (臨床工学技士)
3	除細動器	マニュアル除細動器取扱い方法 TEC-5621/5631①	座学・実技	救急部器材室	看護師	4月2日	14:30~15:00	7	西山 毅 (臨床工学室) 奥村 彰良 (日本光電)
4	除細動器	除細動器の取扱い方法 TEC-5600	実技	救急病棟	看護師	4月4日	15:00~15:30	3	西山 毅 (臨床工学室) 奥村 彰良 (日本光電)
5	除細動器	マニュアル除細動器取扱い方法 TEC-5621/5631②	座学・実技	救急部器材室	看護師	4月9日	14:30~15:00	2	西山 毅 (臨床工学室) 奥村 彰良 (日本光電)
6	AED	取扱・新規導入 AED勉強会①	実技	10階西病棟	看護師	4月12日	13:45~13:50	13	西俣 友博 (臨床工学室)
7	保育器	原理・取扱 NICUで使われている医療機器 ~保育器- Incubator~	座学	周産母子センター	新人看護師 (部署移動)	4月15日	11:00~11:30	1	雨田 立諭 (臨床工学室)
8	人工呼吸器	原理・取扱 NICUで使われている医療機器 ~人工呼吸器- [Babylog] ~	座学・実技	周産母子センター	新人看護師 (部署移動)	4月15日	14:00~14:30	3	雨田 立諭 (臨床工学室)
9	その他	看護部新人職員接遇マナー研修会	座学・実技	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	新人臨床工学技士	4月15日	15:00~17:00	5	照屋 澄江 (オプイス マナキヤリ)
10	血液浄化 装置	取扱・新規導入 ACH-Σのアラーム対応について	実技	救急部	看護師	4月16日	10:30~11:00	6	西山 毅 (臨床工学室) 志堅原 浩史 (Asahi KASEI)
11	電気メス	原理・取扱・安全性 電気メス基礎と使用方法	座学・実技	手術部7ルーム	新人看護師 部署移動新人看護師	4月17日	15:30~16:15	8	具志堅 興治・岡山 晴香 安富 翔 (臨床工学室)
12	人工呼吸器	原理・取扱 NICUで使われている医療機器 ~人工呼吸器-SIPAP-~	座学・実技	周産母子センター	新人看護師 (部署移動)	4月18日	11:10~11:40	3	雨田 立諭 (臨床工学室)
13	AED	取扱・新規導入 AED勉強会②	実技	8階東病棟	看護師	4月18日	13:45~13:50	10	西俣 友博 (臨床工学室)
14	除細動器	取扱・保守点検 除細動器の基本と取扱いについて	座学・実技	6階西病棟	新人看護師	4月18日	14:15~14:45	3	雨田 立諭 (臨床工学室)



15	AED	取扱・新規導入	AED勉強会③	実技	4階東病棟	看護師	4月18日	16:55~17:05	14	西俣 友博 (臨床工学会)
16	AED	取扱・新規導入	AED勉強会④	実技	6階東病棟	看護師	4月19日	11:00~11:05	9	西俣 友博 (臨床工学会)
17	AED	取扱・新規導入	AED勉強会⑤	実技	5階東病棟	看護師	4月23日	9:00~9:05	10	大塚 千明 (臨床工学会)
18	血液浄化装置	取扱・新規導入	CHDF・勉強会(アラーム対応)	座学・実技	救急病棟	看護師	4月23日	10:00~11:00	7	西口 泰 (臨床工学会) 志堅原 浩史 (Asahi KASEI)
19	AED	取扱・新規導入	AED勉強会⑥	実技	8階西病棟	看護師	4月26日	14:30~14:35	7	西俣 友博 (臨床工学会)
20	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療計画用 X線CT装置取扱い①	座学	高エネ第1治療室 治療計画CT室	診療放射線技師	5月7日	8:30~15:30	1	宮里 孝 (放射線部)
21	保育器	原理・取扱	NICUで使われている医療機器 ~保育器-Incubator-	座学・実技	周産母子センター	新人看護師	5月16日	11:00~11:30	2	雨田 立論・大塚 千明 (臨床工学会)
22	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	人工呼吸器アラームと トラブleshooting	座学・実技	9階東病棟	看護師	5月16日	16:00~16:45	3	雨田 立論 (臨床工学会)
23	その他	原理・取扱・安全性	ME機器研修会	座学・実技	南西医療機器 研修センター	新人臨床工学技士	5月17日	09:00~16:00	5	南西医療機器株式会社
24	除細動器	取扱	除細動器勉強会	実技	7階西病棟	看護師	5月21日	16:45~17:00	5	西俣 友博 (臨床工学会)
25	その他	取扱	ジヤクソリス・パツカパルマ勉強会	座学・実技	10階西病棟	看護師	5月28日	13:25~13:50	3	大塚 千明 (臨床工学会)
26	その他	原理・取扱・安全性	医療機器と安全管理について 中途復職者研修会	座学・実技	救急部	新人看護師 中途復職者	5月29日	11:00~11:50	5	西山 毅 (臨床工学会)
27	炭酸ガスレーザー	取扱・新規導入	炭酸ガスレーザー ニークレザリ-15Zμ	座学	手術部2ルーム	臨床工学技士	5月29日	15:00~15:30	5	大井 勇一 (株式会社エムアール)
28	AED	取扱・新規導入	AED勉強会⑦	実技	9階東病棟	看護師	6月3日	16:00~16:10	6	大塚 千明 (臨床工学会)
29	人工心臓装置及び補助循環装置	取扱	植込み型補助人工心臓	実技	7階東病棟	看護師	6月7日	16:00~17:30	16	兼城 悠司 (臨床工学会)
30	人工呼吸器	取扱	ネーザルハイフロー勉強会	実技	10階東病棟	看護師	6月11日	17:30~18:30	8	西俣 友博 (臨床工学会)

31	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	静脈血栓塞栓症について	座学・実技	大学院セミナー室	臨床工学技士 リハビリテーション部 (理学療法士)	6月11日	17:00~17:45	9	野原 珠理 (コガイン エンジン パン株式会社)
32	人工呼吸器 シリンジポンプ	原理・取扱	NICUで使用されている医療機器 〜人工呼吸器-「バシダグX」 「Babylog」 シリンジポンプ	座学・実技	周産母子センター	新人看護師	6月12日	11:00~12:30	2	雨田 立輪・西俣 友博 (臨床工学会)
33	測定機器	取扱・新規導入	サイトレックス勉強会	座学・実技	ME 機器センター	臨床工学技士	6月13日	10:00~10:30	5	岡 光幸 (I.MI株式会社)
34	血液凝固 測定器	取扱・新規導入	血液凝固測定器取り扱い方法	座学	救急部	看護師・新人看護師 中途復職者看護師	6月14日	14:00~14:30	8	北条 剛(臨床工学会) 株式会社沖繩三和メディカ ル) 西山 毅 (臨床工学会)
35	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	テルモ BCT Spectra Opta	座学	血液浄化療法部	臨床工学技士	6月17日	7:50~8:05	4	金城 哲史 (臨床工学会)
36	人工呼吸器	取扱・保守点検	NELCOR PURITAN BENNETT840 使用方法	座学・実技	7階西病棟	看護師	6月18日	16:30~17:30	10	雨田 立輪・西俣 友博 大塚 千明・上地 康太 (臨床工学会)
37	人工呼吸器	取扱・保守点検	NELCOR PURITAN BENNETT840 使用方法	座学・実技	7階西病棟	看護師	6月19日	16:30~17:30	12	雨田 立輪・西俣 友博 大塚 千明・上地 康太 (臨床工学会)
38	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱	ME機器の特徴と取り扱い①	座学・実技	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	新人看護師	6月20日	16:00~17:00	58	西俣 友博 (臨床工学会)
39	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱	ME機器の特徴と取り扱い②	座学・実技	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	新人臨床工学技士	6月20日	16:00~17:00	6	西俣 友博 (臨床工学会)
40	人工心臓装置及び 補助循環装置	原理・取扱	人工心臓・補助循環 人工心臓勉強会	座学	手術部	看護師	6月21日	17:00~18:30	19	兼城 悠司 (臨床工学会)
41	人工呼吸器 AED	原理・取扱・安全性	医療機器と安全管理について 中途復職者研修会	座学・実技	5階看護部会議室	中途復職者看護師	6月24日	14:00~15:00	27	西山 毅・大塚 千明 (臨床工学会)
42	その他	原理・取扱・新規導入	HOTLINE Fluid warmer	座学・実技	臨床工学会	臨床工学技士	6月25日	11:00~11:20	3	戸上 賢二 (smiths medical)
43	保育器	取扱	保育器の使い方	座学・実技	周産母子センター	看護師	6月25日	16:30~17:20	10	上地 康太・大塚 千明 (臨床工学会)
44	その他	取扱・安全性	看護助手向け講習会 「ME機器の取り扱い」	座学	5階看護部会議室	看護助手	6月27日	14:00~15:00	24	西俣 友博 (臨床工学会)
45	フットポンプ 経腸栄養ポンプ	原理・取扱・安全性 保守点検	フットポンプ・経腸栄養ポンプ 臨床工学技士向け講習会	座学・実技	管理棟大会議室	臨床工学技士	6月29日	10:00~17:00	8	伊藤 (日本コグイン株式会社)
46	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療装置CLINAC IXの仕組み 取扱いについて①	実技	高エネ第1治療室	診療放射線技師	7月1日	8:30~17:15	1	源河 克之 (放射線部)

47	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療計画用 X線CT装置取扱い②	座学	高エネ第1治療室 治療計画CT室	診療放射線技師	7月2日	8:30~15:30	1	宮里 孝 (放射線部)
48	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	ネーザルハイフロー ブレンドタータイプ①	座学・実技	救急部	看護師	7月3日	14:00~14:30	7	西山 毅 (臨床工学会)
49	その他	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	HOT LINE①	座学・実技	救急部	看護師	7月3日	14:30~15:00	7	西山 毅 (臨床工学会)
50	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	ネーザルハイフロー ブレンドタータイプ②	座学・実技	救急部	看護師	7月4日	10:00~10:30	4	西山 毅 (臨床工学会)
51	その他	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	HOT LINE②	座学・実技	救急部	看護師	7月4日	10:30~11:30	8	西山 毅 (臨床工学会)
52	麻酔器	取扱・保守点検 新規導入	ドレーゲル 麻酔器 マシンモ INVOS勉強会	座学・実技	手術部	看護師・臨床工学技士	7月24日	17:00~18:30	14	関根 (ドレーゲル) 原 (マシンモ)
53	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	第64回 日本透折医学会	座学	血液浄化療法部	臨床工学技士	7月25日	7:50~8:05	4	吉田 拓将・山本 彩加 (臨床工学会)
54	麻酔器	取扱・保守点検 新規導入	ドレーゲル 麻酔器 マシンモ INVOS勉強会	座学・実技	手術部	臨床工学技士	7月25日	18:00~19:30	3	関根 (ドレーゲル) 原 (マシンモ)
55	吸引器	原理・取扱 保守点検・安全性	トパーズ勉強会①	座学・実技	救急病棟	看護師 臨床工学技士	8月8日	13:30~14:00	7	野原 殊理 (コウケンテック株式会社)
56	人工心臓装置及び 補助循環装置	安全性	人工心臓について	座学	手術部	看護師	8月9日	17:00~18:30	13	兼城 悠司 (臨床工学会)
57	吸引器	原理・取扱 保守点検・安全性	トパーズ勉強会②	座学・実技	救急病棟	看護師	8月16日	14:00~14:30	6	西山 毅 (臨床工学会)
58	パルス オキシメータ	取扱・新規導入	パルスオキシメータ Radica 1-7	座学	内視鏡室	看護師 臨床工学技士	8月16日	15:00~16:30	7	金城 雅史 (沖繩好イカ祭-ト)
59	人工呼吸器	原理・取扱 保守点検	人工呼吸器って何をやっているの？	座学・実技	看護部会議室	看護師	8月22日	17:00~18:00	14	雨田 立論 (臨床工学会)
60	その他	原理	気管支内視鏡の基本	座学	内視鏡室	看護師・臨床工学技士	8月23日	16:00~17:30	5	原永 修作 (一内科医師)
61	エコー	取扱・新規導入	エコー勉強会	実技	手術室	看護師・臨床工学技士	9月4日	17:00~18:00	8	堀井 耕二 (日立製作所)
62	人工呼吸器	原理	人工呼吸器の換気モード NICU ver	座学	NICU ナーステーション	新人看護師 (部署移動)	9月6日	11:10~11:50	2	雨田 立論 (臨床工学会)

63	吸引器	原理・取扱 保守点検	新人看護師向けCUSA勉強会	座学・実技	手術室	新人看護師	9月6日	17:00~17:30	7	具志堅 興治・安富 翔 (臨床工学会)
64	AED	原理・取扱	「普通救命講習Ⅰ」 心肺蘇生(AED)応急処置法等	座学・実技	50周年記念会館 1階 多目的広場	臨床工学会技士	9月11日	14:00~17:00	6	沖縄県東部消防本部
65	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	S e f a m S . B O X	座学・実技	ME機器センター	臨床工学会技士	9月18日	10:00~11:00	5	株式会社MA Gnet
66	その他	安全性	内視鏡室災害対策勉強会	座学	内視鏡室	看護師	9月27日	15:00~15:30	4	西俣友博 (臨床工学会) 大城チエミ (内視鏡室看護師) 興歴 武史
67	輸液ポンプ	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	JMS輸液ポンプME研修会①	実技	管理棟多目的室	臨床工学会技士	9月27日	15:00~21:30	6	(株式会社ジェイ・エム・エ ィ)
68	輸液ポンプ	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	JMS輸液ポンプME研修会②	実技	大学院セミナー	臨床工学会技士	9月28日	15:00~20:00	2	(株式会社ジェイ・エム・エ ィ)
69	人工呼吸器	原理・取扱・安全性 保守点検・新規導入	All-in-one VOC SN Ventilator	座学・実技	ME機器センター	訪問看護師	10月3日	9:30~11:00	3	上原 健正 (南西医療器) 西俣 友博 (臨床工学会)
70	その他	安全性・取扱	看護師向けMRI安全講習会	座学	MRI室	看護師	10月9日	18:00~19:00	16	呉屋 克典
71	人工呼吸器	原理・取扱	人工呼吸器講習会 「人工呼吸器の基本」	座学・実技	8東病棟 ナースステーション	看護師	10月11日	17:00~18:00	8	雨田 立諭 (臨床工学会)
72	人工呼吸器	原理・取扱 保守点検	PB8407カナルトロング講習会	座学・実技	ME機器センター	臨床工学会技士	10月19日	10:00~14:00	7	外 トニツク&沖繩巧 伽那ト
73	人工呼吸器	原理	人工呼吸器講習会「換気モード」	座学	8東病棟 ナースステーション	看護師	10月28日	17:00~18:00	6	雨田 立諭 (臨床工学会) 興歴 武史
74	輸液ポンプ	原理・取扱 新規導入	JMS社製新型輸液ポンプ 導入講習会	座学・実技	全看護師	看護師	10月1日~ 31日	-	657	(株式会社ジェイ・エム・エ ィ) 雨田 立諭 福 井 雅香 (臨床工学 会)
75	輸液ポンプ	原理・取扱 新規導入	JMS社製新型輸液ポンプ 導入講習会	座学・実技	集中治療室	看護師	10月15日 ~25日	-	26	平山 千佳・又吉 慶人・與那嶺 順一 (臨床工学会)
76	その他	原理・取扱 保守点検・安全性	Philips装置取扱 (Timap/非造影MRA)	実技	MRI 3ルーム	診療放射線技師	10月30日	18:00~21:00	6	小原 誠 (Philips社)
77	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radiaactの仕組み・取扱いについて	実技	高エネ第2治療室	診療放射線技師	11月1日	8:30~17:15	1	源河 克之 (放射線部)
78	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	放射線治療装置CLINAC iXの仕組み 取扱いについて②	実技	高エネ第1治療室	診療放射線技師	11月1日	8:30~17:15	1	源河 克之 (放射線部)

79	除細動器	原理・取扱	AED使用方法	座学・実技	10階西病棟 ナースステーション	看護師	11月5日	14:30~15:00	10	福井 雅章 (臨床工学室)
80	人工呼吸器	取扱・安全性	人工呼吸器の使い方	座学・実技	救急部	看護師	11月5日	11:00~11:45	1	西山 毅 (臨床工学室)
81	その他	原理・取扱・安全性	ICU電気設備と災害対策	座学・実技	集中治療室	新人看護師 部署移動看護師	11月15日	14:00~15:30	6	平山 千佳・又吉 慶人 (臨床工学室)
82	人工呼吸器	原理	人工呼吸器講習会 「モニタリングとアラーム」	座学	8東病棟 ナースステーション	看護師	11月18日	17:00~18:00	8	雨田 立諭 (臨床工学室)
83	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	MONNAL T 60研修会①	座学	救急部	看護師	11月19日	12:00~12:50	13	志田 達 (71・14・7株式会社) 西山 毅 (臨床工学室)
84	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	MONNAL T 60研修会②	座学	救急部	看護師	11月20日	9:00~9:30	3	志田 達 (71・14・7株式会社) 西山 毅 (臨床工学室)
85	輸液ポンプ	原理・取扱・安全性 保守点検・新機導入	JMS輸液ポンプME研修会③	実技	管理棟多目的室	臨床工学技士	12月1日	10:00~16:00	4	栗原 武史 (株式会社ジェイ・エム・エス)
86	人工呼吸器	原理・取扱・安全性	MONNAL T 60研修会④	座学	救急部	看護師	12月3日	10:30~11:00	9	喜瀬 一成 (南西医療器)
87	人工呼吸器	原理	人工呼吸器HAMILTONG5-T1=ASVとINTELLVENT=	座学	ME機器センター	臨床工学技士	12月20日	15:30~16:30	3	西嶋 正樹 (日本光電)
88	流量計	原理・取扱	アトム空気酸素ブレンダー①	座学	周産母子センター	看護師	12月23日	11:30~12:00	4	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)
89	流量計	原理・取扱	アトム空気酸素ブレンダー②	座学	周産母子センター	看護師	12月24日	11:30~12:00	5	雨田 立諭・福井 雅章 (臨床工学室)
90	流量計	原理・取扱	アトム空気酸素ブレンダー③	座学	周産母子センター	看護師	12月25日	16:40~16:50	4	雨田 立諭 (臨床工学室)
91	人工呼吸器	原理・取扱	新生児・小児用 nCPAPドライバ-CNO ①	座学	周産母子センター ナースステーション	看護師・助産師 臨床工学技士	1月28日	11:00~11:30	8	宮尾 裕信 (イワキ株式会社)
92	人工呼吸器	原理・取扱	新生児・小児用 nCPAPドライバ-CNO ②	座学	周産母子センター ナースステーション	医師・看護師	1月30日	11:00~11:45	5	宮尾 裕信 (イワキ株式会社)
93	輸液ポンプ シリンジポンプ	原理・取扱 保守点検	メンテナンスタ講習会~輸液ポンプ TE261、シリンジポンプTE-35型~	座学・実技	ME機器センター	臨床工学技士	2月8日	9:00~17:00	4	山田 (テルモ株式会社)
94	体温調節器	取扱	サーモガードシステム プライミング	実技	救急部	看護師 臨床工学技士	2月18日	10:30~11:30	11	福井 雅章 (臨床工学室)

95	人工呼吸器	原理	人工呼吸器講習会 「人工呼吸器のキホン」	座学	NICU ナースステーション	新人看護師 (部署移動)	2月18日	11:00~11:50	1	雨田 立諭 (臨床工学室)
96	測定機器	原理・取扱・安全性 保守点検・新機導入	フルーク 保育器スタタ研修	座学・実技	ME 機器センター	臨床工学技士	2月18日	17:30~18:00	3	上原 直哉 (南西医療器)
97	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	5月7日	17:15~19:00	1	銘苅 ひより (診療放射線技師)
98	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	8月1日	17:15~19:00	1	銘苅 ひより (診療放射線技師)
99	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	10月1日	17:15~19:00	1	銘苅 ひより (診療放射線技師)
100	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	12月10日	17:15~19:00	1	銘苅 ひより (診療放射線技師)
101	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	CT検査装置取扱い	実技	CT検査室	診療放射線技師	1月24日	17:15~18:00	3	川淵 隆生 (キヤノン)
102	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	UV-C紫外照射システム UVDI-360の取扱いについて	実技	CT検査室	診療放射線技師	1月29日	10:30~11:15	7	眞築城 咲子・渡慶次 道太 (看護師)
103	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radikact Synchrony Physics トレーニング	座学	第2治療室・治療計画室 操作室	診療放射線技師	3月22日	9:00~18:00	5	小林 冬水・野田 茂利 (株式会社日本アキュレイ)
104	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radikact Synchrony Planninn トレーニング	実技	第2治療室・治療計画室 操作室	診療放射線技師	3月23日	09:00~13:00 ②14:00~15:00	6	小林 冬水 (株式会社日本アキュレイ)
105	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radikact Synchrony Physics トレーニング	座学	第2治療室・治療計画室 操作室	診療放射線技師	3月27日	17:30~19:30	5	小林 冬水・野田 茂利 (株式会社日本アキュレイ)
106	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radikact Synchrony Physics トレーニング	座学	第2治療室・治療計画室 操作室	診療放射線技師	3月28日	9:00~18:30	5	小林 冬水・野田 茂利 (株式会社日本アキュレイ)
107	放射線装置	原理・取扱 保守点検・安全性	Radikact Synchrony Physics トレーニング	座学	第2治療室・治療計画室 操作室	診療放射線技師	3月29日	9:00~20:45	5	小林 冬水・野田 茂利 (株式会社日本アキュレイ)

## 令和元年度 看護部院内研修実施内容一覧

## (1) クリニカル・ラダーレベル I 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
新規採用者 オリエンテーション	1. 病院の理念と基本方針 2. 医療安全の基本 当院の医療に係る安全管理のための指針 3. 医療機器安全管理 4. 感染対策の基本 5. 医薬品安全管理の基本 6. 医療倫理～立ち止まる倫理のススメ～ 7. ハラスメント相談室利用について 8. 損害保険について 9. 諸手続き(勤務時間・休暇等給与支給・諸手当・社会保険等,学部内)	4月2日 (8時間)	60
看護部新規採用者 オリエンテーション	1. 社会人としての心構え 2. 看護部組織の一員及び専門職としての心構えと役割 ・病院・看護部の組織について ・看護部の理念と基本方針について 3. チーム医療の一員としての役割や連携について 関連部署訪問	4月2日 (6時間)	56
看護部運営方針	令和元年度看護部長方針について	4月2日 (1時間)	110
看護部新規採用者 オリエンテーション	・院内教育計画について ・新人看護師育成プログラム・クリニカル・ラダー・プリセプターシップ	4月3日 (1時間)	55
看護部新規採用者 オリエンテーション	1. 看護記録基準と看護記録について 2. 服装基準と身だしなみマナー	4月3日 (1時間)	55
感染管理 I 標準予防策①	・標準予防策 ・手指衛生と个人防护具着脱 ・経路別予防策 ・院内感染対策で重要な耐性菌とウイルスの感染経路について ・針刺し防止策について	4月3日 (4時間)	55
看護部新規採用者 オリエンテーション	・PNS 看護体制について	4月3日 (0.5時間)	55
看護部新規採用者 オリエンテーション	・看護協会について ・看護協会の使命 ・活動内容 ・入会案内	4月4日 (0.5時間)	57
看護部新規採用者 オリエンテーション	・勤務管理について ・労務管理について・人事管理における個人情報入力方法について ・看護師免許登録と取扱いについて	4月4日 (1時間)	57
看護の安全	・リスクマネジメントについて ・5Rの確認、インシデントの対応について	4月4日 (2時間)	57
看護部新規採用者 オリエンテーション	・情報管理とセキュリティについて	4月4日 (0.5時間)	57
看護部新規採用者 オリエンテーション	・院内施設案内	4月4日 (1時間)	57
新人研修基礎看護技術	1. 移乗・移送 2. 口腔ケア 3. 経管栄養 4. 食事介助	4月26日 (8時間)	51
インスリンの基礎知識	・インスリンの種類、作用、副作用、器材等の知識と情報 ・インスリンに対するインシデント事例と対策	5月28日 (1時間)	59
接遇 I ①	・社会人として身に付けておくべき基本的なマナー	4月15日 (6時間)	62

新人研修基礎看護技術	基礎看護技術 ・BLS:成人の心肺組成法、AED 使用法 ・酸素療法、気管内吸引:酸素療法の必要物品の準備、手順、手技、留意点 観察のポイント、片付けについて ・インスリン皮下注射:	5月17日 (8時間)	51
基礎看護技術③ エンゼルケア	・エンゼルケアの意義と実際(エンゼルメイク、更衣、家族への配慮)	9月27日 (2時間)	52
接遇Ⅰ②(フォローアップ研修)	・自己の接遇を振り返り、医療現場における接遇の重要性と対応の基本、クレーム対応	11月8日 (2時間)	59
コミュニケーションスキル	・関わり方を深めるためのコミュニケーション技術・ロールプレイ	5月14日 (2時間)	56
深部静脈血栓症の予防(基礎編)	・末梢循環動態の観察、ストッキングの正しい履かせ方	7月19日 (1時間)	71
新人6ヶ月 フォローアップ研修	・乗り越えられた事、現状の悩み、自己の成長について、乗り越えるための戦略についてグループワーク	9月20日 (2時間)	51
新採用者リフレッシュ 宿泊研修	・自己のナラティブのまとめとリフレクション	11月1日 (8時間)	71

(2) クリニカル・リーダーレベルⅡ 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
気管内挿管介助	・必要物品と使い方 ・救急カートの内容と使用目的 ・シミュレーターを使って気管内挿管介助の実際とフィードバック	5月24日 (4時間)	83
リーダー育成研修 (基礎編)リーダーシップの基礎	・リーダーの役割、リーダーシップとは何か、 ・役割を発揮するうえで必要な事とは何か ・リーダーとリーダーシップの違い	6月7日 (6時間)	40
アサーティブコミュニケーション	・アサーティブとは ・自己のコミュニケーションのタイプ ・アサーティブな自己表現	6月11日 (1.5時間)	67
救急看護	・救命処置の実技 ・リーダーシップについて ・事例を想定した救急への対応	7月5日 (2時間)	67
接遇Ⅱ	医療接遇とは接遇に関する課題の共有	7月8日 (1時間)	54
深部静脈血栓症の予防(応用編)	血栓の発生機序とハイリスクの判断基準、予防方法	7月23日 (1時間)	85
メンタルヘルス	・職場の人間関係 ・対応困難場面に対する適切な対応方法 ・ストレスの予防と対策 ・コミュニケーション方法	9月4日 (1.5時間)	57
フィジカルアセスメント(3回)	フィジカルアセスメントの目的、一般状態、基本手技:問診、視診、触診、(打診)、聴診	9月6日 (1.5時間) 10月10日 11月26日	34 30 28
手術室における挿管 介助見学実習	・必要物品の確認 ・気管内挿管介助の実際(声かけ、医師との連携・タイミングの取り方等)	12月1日 ～ 2月29日 (3時間)	58
材料部実習	・医療材料の再生処理・滅菌・供給システムの実際	5月(3時間)	45



## (3) クリニカル・リーダーレベルⅢ・Ⅳ対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護管理概論	・看護管理とは ・管理者に求められる能力について	5月27日 (1時間)	44
レベルⅢ看護診断事例検討会第一回	・事例発表予定の患者の看護診断について、エキスパートナースも含め検討する	6月21日 (6時間)	61
リーダー育成研修 (実践編)①	・リーダーの役割 ・リーダーに求められる人間的資質 ・リーダーシップのタイプについて	6月24日 (1時間)	53
論理的な文章の書き方	・論理的な文章の書き方 ・論文や事例レポートのまとめ方	7月12日 (2時間)	33
重症患者ケア① 呼吸管理	・クリティカルな状況での呼吸管理 ・体位ドレナージ、口腔ケアの意義 ・合併症予防	7月26日 (1.5時間)	39
リーダー育成研修 (実践編)②	・実践を通して自己のリーダーシップの振り返り	10月28日 (1時間)	37
重症患者ケア② 循環管理	・クリティカルな状況での代謝、栄養管理も含めた循環管理について	12月10日 (1.5時間)	24

## (4) 全看護職員 対象

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
高齢者の看護	・高齢者の特徴的な疾病・症候、予防・治療について、 ・高齢者を包括的に診る視点、症状の観察、判断の要点について	7月30日 (1時間)	39
認知症高齢者の看護	・認知症の病態・診断・予防・治療について ・認知症を有する人の対応やコミュニケーション方法、中核症状、せん妄を呈する認知症高齢者のアセスメントの要点と援助方法	9月24日 (1時間)	43
医療倫理	・医療倫理とは、看護職と倫理、倫理原則について	10月8日 (1.5時間)	69
アドボカシーを育む ①基礎編	・倫理問題に対する対応 ・臨床現場で倫理的問題、事例検討	11月5日 (1.5時間)	30
ナラティブ・ベスト・ ナーシング	・看護管理者にとってのナラティブとは ・患者のにとってのナラティブとは	9月17日 (1.5時間)	28
看護研究①	・看護研究のテーマ絞り込みのステップ ・文献検索方法	5月16日 (1時間)	38
看護研究②	・研究テーマの絞込 ・文献検索の方法	5月16日 (1時間)	38
看護研究③	・プレゼンテーション:スライドの作り方、発表原稿の作り方、発表のポイント	9月11日 (1.5時間)	20
看護診断セミナー (初級編)	・看護過程について ・看護診断の意味・意義・活用について	6月15日 (6時間)	91
看護診断セミナー (中級編)	・アセスメントから看護診断、理論背景や用語・概念の理解(自己概念・役割関係・ストレスコーピング・スピリチュアリティ、その他)	10月5日 (7時間)	89
看護診断(上級編)	・看護診断に役立つ知識・技術、看護診断指導のポイント、看護診断の開発、検証、研究	12月14日 (7時間)	84
消火器・消火栓の取 扱い	消火栓の取扱いについて	7月4日 8月6日 (1時間)	16 26
保全防災訓練 ①避難誘導訓練	・院内防災について ・災害発生時の初期対応	9月18日 (1時間)	60

保全防災訓練 ②総合消防訓練	・総合消防訓練	10月16日 (2時間)	70
災害訓練	災害訓練 ・自衛消防モードに基づき訓練の実施	11月30日 (2時間)	70
プレゼンテーションスキル	・スライド作成、発表原稿の作り方、発表のポイント	9月13日 (1時間)	20

(5) 院内認定研修 (静脈注射教育プログラム 平成26年度改訂版)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
静脈注射基礎コース ①安全管理 ②感染管理	・治療方針の理解、安全(誤薬予防)に実施するための与薬の原則(5R)の徹底 ・清潔操作、安全機材の取扱い針廃棄について	6月12日 (2時間)	64
静脈注射基礎コース ③静脈注射実施基準 ④解剖生理	・看護師が行う静脈注射実施範囲、静脈注射の法的位置づけと看護師の責務、静脈注射の用語の説明・静脈注射の合併症とその対策 ・静脈注射を安全に実践するための解剖と生理 ・静脈注射の合併症とその対策	6月4日 (1.5時間)	65
静脈注射基礎コース ⑤薬剤の基礎的知識 ⑥ME機器の特徴と取扱い	・静脈注射を安全に実施するための薬剤知識(作用、副作用、投与方法、使用量と薬剤単位)・薬剤の保管・管理 ・薬剤の種類と取扱い(ワシヨット禁止薬剤、類似名称、形態) ・輸液ポンプ、シリンジポンプの特徴と使い分け ・輸液ポンプ、シリンジポンプ使用方法とアラームの対処、使用後の後片付け	6月20日 (2時間)	61
静脈注射指導者 コース①	・有害事象の予防と対策(手足症候群)	4月19日 (1時間)	64
静脈注射指導者 コース②	・循環作動薬、ショックバイタル時の輸液管理及びハイリスク薬剤について	4月19日 (1時間)	64
静脈注射指導者 コース③	・適切な静脈栄養管理・静脈栄養の輸液の種類 ・検査データの読み方	5月17日 (1時間)	59
静脈注射指導者 コース④	・緊急輸血、生物学的製剤の取扱い	5月17日 (0.5時間)	59
静脈注射指導者 コース⑤	・末梢・CVライン刺入部管理・血液培養の知識と管理	5月17日 (1時間)	60
静脈注射指導者 コース⑥	・CVポートの管理(穿刺・抜針の演習)	5月22日 (1時間)	57
管理者コース①	・看護管理とは・マネジメントの基本とPDSAサイクル、管理者に求められる能力について・問題解決技法の活用方法と自己の取り組む課題について	7月4日 (1.5時間)	18
管理者コース②	・問題解決技法を用い、部署の課題の明確化 ・課題解決に向けた具体策の検討、個別フィードバック	7月31日 (1.5時間)	16
管理者コース③	・課題解決に向けて、PDCAサイクルを実践した中間報告	10月1日 (1.5時間)	19
管理者コース④	・課題解決に向けて取り組んだ看護管理の実践報告	令和1年 1月31日 (1.5時間)	21

(6) 皮膚・排泄ケアスキルアップ研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
スキンケア I -①	・スキンケアを実施するための基礎知識 ・スキンケアの技術演習	4月26日 (1時間)	51
スキンケア I ②	・スキンケアについて・脆弱な皮膚のスキンケア・皮膚障害のアセスメント ・スキンケアの技術演習・老人のスキントラブルとスキンケアを実施するための基礎知識	5月10日 (1時間)	51

創傷・褥瘡ケア①	・ポジショニングについて	7月11日 (1時間)	18
創傷・褥瘡ケア②	・褥瘡ケアと治療過程について	5月20日 (1時間)	43
創傷・褥瘡ケア③	スキンテア・医療機器関連圧迫層について	6月17日 (1時間)	31
創傷・褥瘡ケア④	・症例検討	9月12日 (1時間)	17
皮膚・排泄ケア スキルアップ研修 ストマケア①	・サイトマーキングについて	10月21日 (1時間)	16
皮膚・排泄ケア スキルアップ研修 ストマケア②	・ストマケアの基礎	11月18日 (1時間)	21
排尿自立ケア	・排尿自立ケアの基礎知識	12月16日 (1時間)	13

(7) 感染対策スキルアップ研修 (院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護ケアと感染防止	・尿路感染、血流感染、人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染の感染経路と感染防止策について	7月8日 (1時間)	25
リーダーのための感染対策の基本	・感染管理に必要なベッドコントロールについて、標準予防策・経路別予防の実際、針刺し時の対応について	10月16日 (1時間)	23
指導者のための標準予防策と経路別予防策	・標準予防策と経路別予防策の基本と予防策ができていないことのリスク対策、個人防護具の選択と着脱方法、手指衛生	11月11日 (1時間)	20

(8) がん看護スキルアップ研修 (院内認定)

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
がん看護 スキルアップ研修①	・がん化学療法に伴う副作用症状、副作用症状のマネジメントとセルフケア支援	6月3日 (1.5時間)	28
がん看護 スキルアップ研修②	・放射線療法の特徴、目的、方法、流れ ・放射線防護・放射線治療の看護の要点 ・放射線治療を受ける患者の有害事象と不安のケア ・緩和療法目的の放射線療法看護、事例検討	9月2日 (1.5時間)	13
がん看護 スキルアップ研修③	・がん性疼痛とアセスメント ・疼痛緩和に用いる薬物療法及び看護ケア	7月1日 (1.5時間)	16
がん看護 スキルアップ研修④	・痛み以外の症状の治療・ケア ・症状マネジメントにおける看護師の役割	10月7日 (1.5時間)	12
がん看護 スキルアップ研修⑤	・臨死期にある患者・家族のニーズと必要なケア ・看取り時の対応と留意点	11月1日 (1.5時間)	18

## (9) 発表会

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
レベルⅢ事例レポート発表会①	受け持ち患者の看護をまとめ発表する	10月25日 (2時間)	75
院内看護研究発表会 実践報告会(示説)	看護研究発表 部署の実践報告 専門・認定看護師実践報告 委員会活動報告	2月28日 (2時間)	150
PNS 実践報告会	監査後の取り組みと成果	12月12日 (2時間)	84

## (10) 役割別研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
ナラティブ・ベスト・ナラティブ	・看護管理者にとってのナラティブとは ・患者のにとってのナラティブとは	9月17日 (1.5時間)	28
新人教育サポーター 研修①	・動機づけと目標設定の方法、OJTとは、ティーチング、コーチングとは 新人を支援するコミュニケーション	9月10日 (1.5時間)	48
新人教育サポーター 研修②	・リフレクションについて	10月3日 (2時間)	58
新人教育サポーター 研修③	・シミュレーション研修	12月23日 (2時間)	39
新人教育サポーター 研修④	・新人教育サポーターの役割について	令和1年 2月21日	50
プリセプター フォローアップ研修	・プリセプターの経験を振り返り自己の学びや成長を共有する。 今後の具体的な支援活動について	9月20日 (2時間)	51
看護サービス管理	・看護サービスについて、看護の室評価(構造・プロセス・アウトカム)について 人財育成人材育成について ・看護の質評価(構造・プロセス・アウトカム)について	7月9日 (1時間)	14
勤務計画表作成①	勤務計画表作成の留意点と実際(計画から実績まで)	10月2日 (1時間)	15
勤務計画表作成②	・11月分の勤務実績確認と超過勤務の要因を分析する。	12月7日 (1時間)	11
コンピテンシー	・コンピテンシーの6つのクラスター、19のコンピテンシーについて ・事例検討	11月23日 (6時間)	50
看護師長・副師長合 同研修	・組織分析、次年度の目標の決定	3月7日 (4時間)	90

## (11) 退院支援スキルアップ研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
退院支援スキルアップ 研修 退院支援Ⅰ	・在宅療養を支える看護職の役割 ・早期退院支援スクリーニングとアセスメント ・退院支援計画書の作成 ・患者・家族と退院支援の必要性を共有	4月22日 (1.5時間)	84
退院支援スキルアップ 研修 ステップⅡ①	・患者・家族の意思決定のプロセス ・患者再評価の視点 ・意思決定支援の実際(事例を通して)	5月8日 (1.5時間)	82
退院支援スキルアップ 研修 ステップⅡ②	・患者・家族の意思決定支援の実際 ・事例検討会(退院支援に難渋した事例)	6月5日 (2時間)	66
退院支援スキルアップ 研修 ステップⅡ③	・多職種連携について ・制度・社会資源の種類 ・リソースの活用方法について事例を通して学ぶ	7月3日 (2時間)	62

退院支援スキルアップ研修 ステップⅢ	・訪問看護師に同行訪問し多職種との調整、エントリーシートの作成、訪問後の報告	11月～1月 (6時間)	2
--------------------	--	-----------------	---

(12) 専門看護師・認定看護師委員会研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
慢性心不全患者の自己管理能力を高めるための支援	・慢性疾患患者の在宅療養移行支援をする上で必要な知識・技術 ・慢性疾患患者の看護	11月14日 (1時間)	12

(13) 看護診断エキスパートナース研修

研修名	研修内容	研修実施日 (時間)	受講者 数(人)
看護診断エキスパートナース育成研修	・事例発表予定者に対する助言内容の検討、看護診断マスター登録内容の検証看護診断	6月14日 (6時間)	10
看護診断エキスパートナース育成研修	・事例発表予定者に対する助言内容の検討、看護診断マスター登録内容の検証看護診断	10月4日 (6時間)	9
看護診断指導者育成事例検討会	・自部署事例の看護診断プロセス(診断指標、危険因子、関連因子、目標、計画)の連動性について	10月11日 (4時間)	28
看護診断指導者育成事例検討会	・自部署事例の看護診断プロセス(診断指標、危険因子、関連因子、目標、計画)の連動性について	12月13日 (4時間)	21

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	大屋 祐輔	
管理担当者氏名	総務課長 金城不二子、医療支援課長 高橋圭郎、検査・輸血部長 前田士郎、手術部長 鈴木幹男、放射線部長 村山貞之、安全管理対策室長 鈴木幹男、ME機器センター長 久木田一朗、薬剤部長 中村克徳、看護部長 大嶺千代美	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	診療情報管理センター
		看護記録	診療情報管理センター
		検査所見記録	診療情報管理センター
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	診療情報管理センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療情報管理センター
		従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、管理課 各診療科
		高度の医療の研修の実績	総務課、各診療科
		閲覧実績	総務課
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理対策室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理対策室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理対策室
		診療録に関することについては、「琉球大学医学部附属病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項」にて定められている。 。 処方せんは、外来は1週間単位、入院は病棟単位で綴り、薬剤部で保管。 。 エックス線写真は、画像サーバーへの電子保存。	
		各課・診療科・関連部署で適切に管理している。	
		各課・診療科・関連部署で適切に管理している。	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	労務・職員係
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医薬品安全管理実施要項
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療機器安全管理実施要項
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

各課・診療科・関連部署で適切に管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	医療安全管理責任者の配置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程	各課・診療科・関連部署で適切に管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	琉球大学病院における感染対策取扱要項	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	琉球大学病院診療情報管理センターにおける診療記録管理運用要項	
	医療安全管理部門の設置状況	琉球大学病院における医療に関する安全管理規程	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	琉球大学病院高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する規程	
	監査委員会の設置状況	国立大学法人琉球大学医療安全監査規程	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	琉球大学病院における医療事故等並びに死亡事例発生時の報告取扱要項	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全管理対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	琉球大学病院医療安全相談窓口運営要項	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	琉球大学病院における医療安全管理の適正な実施の疑義に関する情報提供に関する取扱細則	
職員研修の実施状況	各診療科、各中央診療施設等		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課、安全管理対策室、薬剤部、ME機器センター		



	管理者が有する権限に関する状況	総務課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 大屋 祐輔		
閲覧担当者氏名	総務課長 金城 不二子		
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 2階 小会議室		
閲覧の手続の概要			
閲覧の求めがあった場合、閲覧対応者が個別に対応する			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本院における安全管理に関する基本的な考え方</li><li>2. 医療に係る安全管理のための組織に関する基本的事項</li><li>3. 医療に係る安全管理のための研修等に関する基本方針</li><li>4. 本院における医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧等に関する基本方針</li><li>7. 患者等からの相談への対応等に関する基本方針</li><li>8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</p> <p>・ 開催状況：年12回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 安全管理の対策及び教育に関すること。</li><li>2. 医療事故及びインシデントの判定に関すること。</li><li>3. リスクマネジメント・マニュアルに関すること。</li><li>4. 医療事故等が発生したときにおける事実確認、分析、調査検証等及び対策に関すること。</li><li>5. 医療事故等の分析等結果を活用した改善のための方策の立案、実施及び実施状況の確認等に関すること。</li><li>6. 医療事故等が発生したときにおける患者及び家族等への対応に関すること。</li><li>7. 医事紛争が生じたときの拡大防止策に関すること。</li><li>8. 訴訟が提起されたときの対策に関すること。</li><li>9. 関係機関等への報告に関すること。</li><li>10. その他安全管理、医療事故等、医事紛争及び訴訟の重要事項に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 17 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>第1回 令和元年度新規採用職員オリエンテーション 第2回 5部署合同医療安全・医薬品医療機器研修会 第3回 チームステップス研修会 第4回 患者と医療者で作る医療安全 第5回 医療安全実践報告会 第6回 ハラスメント予防の観点から / ご接続防止コネクタ製品の国内導入について / 医療安全に係る情報提供窓口について その他 令和元年度中途採用者・復職者対象DVD研修（計11回）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全確保状況報告書を毎月部署で作成し提出する</li><li>・ 特に 3 b 以上の事例や警鐘事例などは、別途、改善策報告書を提出してもらっている</li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 琉球大学医学部附属病院感染対策委員会の設置</li><li>3. 感染対策室及び感染対策実務者会議の設置</li><li>4. 職員研修</li><li>5. 感染発生状況及び抗微生物薬使用状況の把握と報告</li><li>6. 感染発生時の対応</li><li>7. 感染対策指針の閲覧に関する対応</li><li>8. 本院における感染対策の推進</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策における決議、耐性菌分離・抗菌薬適正使用・手指衛生実施状況 感染症発生時の対応などについての検討・報告を行っている。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 15 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>①開催日：2019年7月22日（月） 研修会名：第1回感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会「感染対策の基本、ASTについて、指針のテスト」 延べ参加人数：1570名</p> <p>②開催日：2019年11月25日（月） 研修会名：第2回感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会 「リハビリと感染対策、個人防護具の脱ぎ方、抗菌薬適正使用について」 延べ参加人数：1250名</p> <p>③開催日：2020年2月3日（月） 研修会名：第3回感染対策研修会・抗菌薬適正使用研修会 「新型コロナウイルス肺炎について」 延べ参加人数：852名</p> <p>④開催日：2019年4月1日（水） 研修会名：令和元年度新規採用職員オリエンテーション 延べ参加人数：173名</p> <p>⑤開催日：2019年5月以降毎日実施 研修会名：令和元年度中途採用者・復職者対象DVD研修 延べ参加人数：660名（60×11か月）</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. 院内感染対策委員会の他に、実務者会議や感染対策リンクナース委員会を開催し感染対策に関する情報を共有している。
  2. ICTミーティングを毎週開催し、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師など各職種からの情報を共有し、院内で起きている事項について共有・対策などを講じる場を設けている。
  3. ICTラウンドを毎週実施し、各病棟・部署の感染対策状況の評価・指導を行っている。
  4. 抗菌薬ラウンドを毎日実施し、抗菌薬適正使用につなげている。
  5. 毎日、血液培養陽性患者を確認し、主治医と対応について検討をおこなっている。
  6. 新型コロナウイルス感染症対策で、職員が個人防護具を安全に着脱できるよう指導を行っている。また、各部署と話し合いを持ち、部署に合わせた対策の提案・シミュレーションなどを実施している。
  7. 感染対策コンサルテーションを受けている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る  
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 2019年度第1回医療安全職員研修会（5部署合同） 日時：2019年5月15日（水）17：00-18：00 *ビデオによる追加研修会（5月28・29日） 講師・テーマ：諸見 牧子（薬剤部）「麻薬の取り扱いについて」 対象：全職員</p> <p>(2) 令和元年度第3回医療安全職員研修会（3部署合同） 日時：令和元年10月25日（金）17：00-18：00 *ビデオによる追加研修会（10月28日、11月5・7日） 講師・テーマ：山口 育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）「患者と医療者で つくる医療安全」 対象：全職員</p> <p>(3) 2019年度第4回医療安全職員研修会（令和元年実践報告会） 日時：2019年12月13日（金）17：00-18：00 講師・テーマ：末成 由美（薬剤部）「転倒・転落提低減に向けた取り組み～他職種ラウンドと おして～」 対象：全職員</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ 有・無 ）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品の採用、購入</li> <li>2) 薬剤部における医薬品の管理</li> <li>3) 病棟・各部門への医薬品の供給</li> <li>4) 外来患者への医薬品の使用</li> <li>5) 病棟における医薬品の管理</li> <li>6) 入院患者への医薬品の使用</li> <li>7) 医薬品情報の収集・管理・周知</li> <li>8) 手術・麻酔部門、救急部門・集中治療室、輸血・血液管理部門、血液浄化部門、輸血検査部 門・画像診断部門、化学療法部門においての医薬品の管理と使用</li> <li>9) 他施設との連携</li> <li>10) 院内製剤の取り扱いについて</li> </ol> <p>実施状況：年 2 回遵守状況のチェックを各部署で行い、医薬品安全管理責任者が確認している。 問題があれば、改善指導を行っている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その 他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エイズ患者におけるトキソプラズマ脳症に対するピリメタミン・スルファジアジン・ホリナ ート（薬剤）の使用</li> </ol> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適応外使用・禁忌薬剤使用の運用について 適応外使用・禁忌使用のする場合には、医薬品安全管理専門委員会へ「使用の申請書」を提 出し審議し、使用する。医薬品の使用による生命への影響の大きさによりリスク分類し、審議 方法・使用後報告回数を分ける。</li> </ol>	

(様式第 6-2)

- 2) 病棟配置注射用カリウム製剤の使用について  
一般病棟に定数配置のあった注射用カリウム製剤を回収し、注射オーダーにより払出をすることとした。また、単味での処方を禁止し溶解液と共に処方することとした。
- 3) 高濃度カリウム製剤の濃度の統一  
高濃度カリウム製剤の投与は、生食液で1:1に希釈したものをシリンジポンプで投与することとした。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 116 回
・ 研修の主な内容： 従事者に対する医療機器安全使用のための研修実施。人工呼吸器 血液浄化装置 人工心肺装置 PC PS IABP 除細動器 AED シリンジポンプ 輸液ポンプ及び新規導入機器の取り扱い安全研修を実施している。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 医療機器安全管理専門委員会において策定した点検計画に基づいて実施している。 臨床工学技士は、適宜、メンテナンス講習を受講(各機器メンテナンス認定証発行)、保守点検を行っている。ME機器管理システムは、ACEメディアステーションに更新し機器管理、大学病院内にて臨床工学室が中央管理している機器を日常及び定期点検を実施している。臨床工学室で対応できない機器に関しては、メーカー保守点検契約を結び対応（メーカー対応機種は麻酔器、人工心肺装置、放射線関連装置等）としている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 ) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：  厚生労働省のHPやPMDA, PMDAナビ及び各種学会からの情報収集やメーカーからの不具合情報をMEセンターで収集し、臨床工学室で共有、情報は該当機種か判断し、各部署に周知徹底している。 重要事項に対しては臨床工学室長及び病院長に報告している。重要事項の必要度に応じてMEニュースを発行し、再研修や院内ラウンドし全職員に周知徹底している。勤務体系に合わせ個別対応も行っている。診療に支障が出ない範囲で、院内機器の統一化を図り取り扱いの煩雑さを軽減、ME機器の安全性を高めるように臨床工学室で取組んでいる。毎月 1 回医療機器安全管理専門委員会にてインシデント及びアクシデント点検修理状況、修理状況を周知し各部門が集まり対策を図っている。更に毎週月曜日に、特定機能カンファレンスにて医療安全管理室を中心として各部門が集まり対策している。  ・ その他の改善のための方策の主な内容：	

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第 9 条の 2 0 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 <input checked="" type="checkbox"/> 医師・歯科医師</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>1. 医療安全管理責任者は、本院の副病院長又は病院長補佐のうちから常勤の医師又は歯科医師をもって充て、病院長が指名する。</p> <p>2. 医療安全管理責任者は、病院長の指揮を受け、医療安全管理委員会、安全管理対策室、医薬品の安全使用のための責任者（医薬品安全管理責任者）及び医療機器の安全使用のための責任者（医療機器安全管理責任者）（診療情報管理センター長）を統括する。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 3名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品商法の確認の収集は、主に医薬品情報室担当薬剤主任が PMDA、厚生労働省、製薬会社等の HP や MR からの通知文書、学会等の各種ガイドライン等から、また電子カルテ内の医薬品情報検索システム（JUS・DI）からも収集・整理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用・禁忌使用については、調剤時及び病棟薬剤業務時に主治医に疑義照会し、その内容・結果を診療録に記録し、その情報を収集・分析し、医薬品安全管理責任者へ毎月報告している。これらの情報は定期的に病棟・診療科へ周知し、さらに周知の確認を実施している。また、適応外使用・禁忌使用の申請を医薬品安全専門委員会へ提出し使用について審議することとしている。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>琉球大学病院インフォームドコンセントガイドラインに基づき、診療情報管理センター長（インフォームドコンセント管理責任者）にて新規で作成した説明同意書の内容監査実施している。評価で要件を満たしていない場合には、評価票を依頼元へ返却し改善を促している。</p> <p>医療安全講演会及び保険診療講演会にて監査結果報告し、インフォームドコンセントに関連した内容を全職員対象に周知を行っている。</p> <p>インフォームドコンセント実施した記事記載に関して、標準テンプレートを作成し記載を促している。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：          琉球大学病院 診療記録監査要領 に基づき実施</p> <p>量的監査：退院患者を対象として、指摘事項等があれば定期的に各診療科へリストを送付し改善を促す。</p> <p>質的監査：「質的監査評価票」を使用し監査チーム(各診療科医師：18名、その他看護部・薬剤部・診療情報管理センターより選出)が、無作為に選んだ退院患者の診療科間相互監査行う。</p> <p>結果は①診療情報管理センター運営委員会②病院運営委員会③各診療科へ文書にて報告行う。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従(4)名、専任( )名、兼任(17)名          うち医師：専従(1)名、専任( )名、兼任(9)名          うち薬剤師：専従(1)名、専任( )名、兼任(1)名          うち看護師：専従(2)名、専任( )名、兼任(3)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全管理対策に係る実施状況の調査及び把握に関すること。</li> <li>2. 安全管理対策に係る職員等の教育研修の実施及び意識向上の状況の確認並びに具体的な指導方法に関すること。</li> <li>3. リスクマネジメント・マニュアルの改正に関すること。</li> <li>4. 医療事故等及び死亡事例に係る発生原因の調査、分析並びに関係部署に対する指導、助言に関すること。</li> <li>5. 医療事故等及び死亡事例に係る診療録・看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び必要な指導に関すること。</li> <li>6. 医療事故等及び死亡事例発生時における患者及び家族に対する説明等の対応状況の確認及び指導に関すること。</li> <li>7. 医事紛争の原因の調査及び分析に関すること。</li> <li>8. 琉球大学病院医療安全管理委員会(以下「医療安全管理委員会」という。)の資料及び議事録の作成並びに保管、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。</li> <li>9. 医療安全相談室に関すること。</li> <li>10. その他、医療安全対策の推進及び連絡調整に関すること。</li> </ol> <p>※平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数(5件)、及び許可件数(5件)</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無( <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 )</p>	

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・無 ）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術を用いた医療提供申請書の提出があった場合の内容確認、及び評価委員会に対して高難度医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  ・無 ）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  ・無 ）

・活動の主な内容：

未承認新規医薬品等を用いた医療提供申請書の提出があった場合の内容確認、及び評価委員会に対して未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。適否結果の通知、定期的な診療録等の記載内容確認、従業者の遵守状況の確認等。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  ・無 ）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 208 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 39 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- ・院内死亡事例及び管理者が定める水準以上の事例については、毎月 GRM が内容を把握し管理者に報告している。
- ・個々の事例については、週 1 回のカンファレンス、分析担当者会議、医療安全管理委員会で分析、検討している。
- ・適宜マニュアルの改訂院内巡視、当該部署へのヒアリングと M&M を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：筑波大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：名古屋大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
  1. インシデント報告体制について
    - ・インシデント報告件数増加の推進（軽微なインシデント報告の推進と医師が報告する目安一覧の周知）
  2. 患者誤認防止について
    - ・患者が安心して療養できる環境を提供できるよう、すべての医療行為に対し患者確認を必ず行う。また患者が誤認防止を理解できるように院内の各所にポスターを掲示し、安全な患者確認をチームで実施している。
  3. 死亡事例を検討する仕組み
    - ・死亡事例報告書が提出されたら、情報収集を行い管理者へ報告を行う。
    - ・死亡事例報告書の提出を2週間以内とし、過ぎた場合は督促を行う。
    - ・検討が必要な事例はレポート報告を提出してもらい、安全管理委員会で審議を行う。
    - ・M&M ミーティングを開催し事例検討を行う。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
  1. 受付業務は患者サポート相談窓口（医療福祉支援センター）が行い、患者等からの医療安全に関する相談等を引き継ぐ。
  2. 相談等についての事実確認及び報告書の作成に関すること。
  3. 相談等内容の保護及び管理に関すること。
  4. その他、相談等に関すること。
  5. 相談等は、相談室にて対応する。ただし、状況に応じて患者サポート相談窓口を利用する。
  6. 対応時間は、平日の8時30分から17時15分までとし、受付時間は、平日の8時30分から16時30分までとする。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- 【第1回】令和1年5月15日  
「医療安全の推進に向けて」 5部署合同研修会  
講師：奥村 耕一郎先生（琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室 GRM 医師）  
平田 哲生先生（琉球大学医学部附属病院 診療情報管理センター長）  
諸見 牧子先生（琉球大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長）  
西山 毅先生（琉球大学医学部附属病院 臨床工学室 技士長）  
宮良 透先生（琉球大学施設部）
- 【第2回】令和1年9月27日  
「チーム戦略とパフォーマンスと患者の安全性を強化するためのツールを学ぶチームSTEPPE」  
講師：奥村 耕一郎先生（琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室 GRM 医師）
- 【第3回】令和1年10月25日  
「患者と医療者で作る医療安全」  
講師：山口 育子先生（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長）

【第4回】令和1年12月13日

「医療安全実践報告会」

報告部署：7東病棟・薬剤部・リハビリテーション部、5東病棟、外来看護部、放射線科、栄養部

【第5回】令和2年1月27日

「ハラスメント予防の観点から」

講師：伊藤 義徳先生（琉球大学ハラスメント相談支援センター 副センター長）

「誤接続防止コネクタ製品の国内導入について」

講師：富島 美幸先生（琉球大学医学部附属病院 材料部 看護師長）

「医療安全に係る情報提供窓口について」

講師：知念 芳和先生（琉球大学医学部附属病院 企画課 課長代理）

【新人研修等】

令和元年度新規採用職員オリエンテーション (R1. 4. 1)

医療安全、感染対策（標準予防策他）、医療機器安全管理、医薬品安全使用 他  
【173/173名受講】

令和元年度中途採用者・復職者対象DVD研修 (R1. 5以降毎月)

医療安全の基本、感染対策（標準予防策他）、医療機器安全管理、医薬品安全使用  
【60/60名受講】

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

・管理者

2020年2月 トップマネジメント研修

・医療安全管理責任者

2019年5月 2019年国公立大学附属病院医療安全セミナー

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容 (国立大学法人琉球大学病院長選考等規程) 第 4 条 病院長は、次に掲げる要件を満たす者とする。 (1) 医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 10 条第 2 項の条件を満たす者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有している者</li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法 本学ホームページで公表 <a href="https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/">https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/</a></li> </ul>
---

## 規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）</li> <li>・ 公表の方法 本学ホームページで公表 <a href="https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/">https://www.u-ryukyu.ac.jp/aboutus/byointyo-r2/</a></li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
木暮 一啓	琉球大学	○	学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
福治 友英	琉球大学		学長が指定する理事	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
石田 肇	琉球大学		役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
高橋 健造	琉球大学		大学院医学研究科から選出され た教員	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
鈴木 幹男	琉球大学		病院から選出された教員	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
青木 陽一	琉球大学		学長が指名する病院副病院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
宮里 達也	沖縄県医師会		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県医師会の副会長として、医 療、保健について、豊富な知見を 有している。	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/>

(様式第 6-3)

大城 玲子	沖縄県保健医療部		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県の健康福祉に係る担当責任者として県内の医療事情に精通し、医療・保健・福祉全般に豊富な知見を有している。	有・ <input type="checkbox"/> 無
嘉手苺 英子	沖縄県立看護大学		学長が委嘱する学外有識者 沖縄県の医療系大学の学長として、医療教育に関する豊富な知見を有している。	有・ <input type="checkbox"/> 無
大嶺 千代美	琉球大学		学長が必要と認める者	<input type="checkbox"/> 有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の  
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☑・無	
<p>・合議体の主要な審議内容 医療法施行規則第9条の23の規定に基づき、次に掲げる事項を審議する。 (1) 運営の方針 (2) 中期計画 (3) 予算及び決算 (4) その他、病院の運営に関する重要な事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 各構成員は、病院運営委員会の資料及び議事要旨を学内イントラネットで閲覧することができ、各構成員はその内容を職員へ周知することとしている。 委員会においても、各部署の長たる構成員に対し、重要事項は直接職員へ周知徹底するよう依頼している</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・☑無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・☑無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
大屋 祐輔	○	医師	病院長
藤田 次郎		医師	第一内科長
益崎 裕章		医師	第二内科長
岩淵 成志		医師	第三内科長代行
高槻 光寿		医師	第一外科長
古川 浩二郎		医師	第二外科長
石内 勝吾		医師	脳神経外科長
西田 康太郎		医師	整形外科長
清水 雄介		医師	形成外科長
青木 陽一		医師	産科婦人科長
中西 浩一		医師	小児科長
高橋 健造		医師	皮膚科長
齋藤 誠一		医師	腎泌尿器外科長
鈴木 幹男		医師	耳鼻咽喉科長
古泉 英貴		医師	眼科長
近藤 毅		医師	精神科神経科長
村山 貞之		医師	放射線科長
垣花 学		医師	麻酔科長
中村 博幸		歯科医師	歯科口腔外科長代行
和田 直樹		医師	病理診断科長
久木田 一郎		医師	救急科長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション科長



(様式第 6-3)

前田 士郎		医師	検査・輸血部長
鈴木 幹男		医師	手術部長
久木田 一朗		医師	地域医療部長
久木田 一朗		医師	救急部長
堂籠 博		医師	高気圧治療部長
村山 貞之		医師	放射線部長
齋藤 誠一		医師	材料部長
垣花 学		医師	集中治療部長
古波蔵 健太郎		医師	血液浄化療法部長
平田 哲生		医師	医療情報部長
正本 仁		医師	周産母子センター部長
加留部 謙之輔		医師	病理部長
外間 昭		医師	光学医療診療部長
大屋 祐輔		医師	リハビリテーション 部長
植田 真一郎		医師	薬物作用制御学分野長
増田 昌人		医師	がんセンター長
平田 哲生		医師	医療情報管理センター 長
中村 克徳		薬剤師	薬剤部長
大嶺 千代美		看護師	看護部長
鬼村 博幸		事務職	事務部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 ( 有・無 ※一部について )  
・ 公表の方法  
大学のホームページで公表「国立大学法人琉球大学規則集」
- ・ 規程の主な内容  
予算執行の権限として、国立大学法人琉球大学会計規則及び予算規程、  
人事権については、国立大学法人琉球大学組織規則、文書決裁規程、病院規程、病院人事委員会  
会に対応している。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割  
琉球大学病院副院長及び病院長補佐に関する内規を改正し (平成 30 年 6 月)、  
副院長、病院長補佐の役割を以下のように明確化した。  
○副院長は、次に掲げる病院長業務を分担する。  
(1)医療安全、(2)診療、(3)経営、(4)教育研修、(5)臨床研究、(6)看護及び患者支援  
○ 病院長補佐は、次に掲げる業務を分担する。  
(1)広報、(2)研究倫理、(3)臨床倫理、(4)医療情報、(5)遠隔医療、(6) その他病院長が必要  
と認める事項
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
  
令和元年度10月～本年9月までの状況  
  
<R1年度実績>  
・ 2020年2月 トップマネジメント研修 (大屋 祐輔)  
・ 2020年2月 第2回病院経営次世代リーダー養成塾 (平田 哲生)  
  
<R2年度 10月1日現在>  
・ 2019年5月 2019年国公立大学附属病院医療安全セミナー (鈴木 幹男・平田 哲生)

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>次に掲げる事項を審議する。</p> <p>病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査に関すること。</p> <p>安全管理状況及び改善状況に関すること。</p> <p>監査の実施に際して、病院の業務状況について病院長に報告を求め、又は必要に応じて自ら確認する。</p> <p>委員会は審議の結果に基づき、学長に是正措置を講じるよう意見を提出する。</p> <p>審議の結果及び前述の意見を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>有・無 )</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>大学公式ホームページおよび病院公式ホームページでの公開</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
望月 保博	かりゆし法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
儀間 小夜子	NPO 法人こども医療支援わらびの会		医療を受ける立場にある者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容

監事による監事監査、監査室による内部監査、総務部総務課の通知により、個人情報保護法の遵守  
状況確認、法令に基づいた規則の整備状況確認、人事・労務管理システムの確認など多岐にわたって  
行われている。(従来からの取組み)

- ・ 専門部署の設置の有無 (  ・無 ※監査室)

- ・ 内部規程の整備の有無 (  ・無 )

国立大学法人琉球大学監事監査規則

国立大学法人琉球大学内部監査規則

- ・ 内部規程の公表の有無 (  ・無 )

- ・ 公表の方法

大学のホームページで公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 監督は役員会が行う。 高度な医療安全体制を確立するため令和元年 7 月 31 日に「国立大学法人琉球大学における琉球大学医学部附属病院の業務の監督に関する申合せ」を制定した。</li><li>・ 会議体の実施状況 ( 年最大 48 回 )</li><li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 ) ( 年最大 48 回 )</li><li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li><li>・ 公表の方法 病院ホームページで公開</li></ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称 :			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合  
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業員への周知の有無 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法     ホームページ及び電子カルテポータルシステムのお知らせ</li></ul>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>日本医療機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver1.1) 平成27年4月23日・24日受審 認定第JC509-3号 平成27年5月30日～令和2年5月29日 (令和2年5月に受審予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策として 10月27～29日へ延期となった。)</p>	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>【広報手段】 ・病院ホームページ、病院情報誌ホットライン、大学院・医学部・病院概要などで広報活動を行っている。</p> <p>【広報内容】 ・病院指標 (年齢階級別退院患者数、診断群分類別患者数 等) ・診療科部等の紹介 ・職員、専門医、認定医等の紹介 ・特集記事 (インフルエンザ・不眠症・鬱病などの病気に関することや、新規導入機器・施設等の紹介) ・イベント案内 など</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>*周術期の患者に対し、歯科口腔外科と手術を実施する診療科が連携して外科手術後の合併症予防のための口腔機能管理を行っている。</p> <p>*複数診療科にまたがる手術を要される患者に対し、手術実施診療科だけでなく病理医も含め合同でカンファレンスを行うなど、連携して対応にあたっている。</p> <p>*精神科入院患者で、身体疾患を併せ持つ患者に対して、精神科と精神科以外の診療科が連携し、必要に応じて精神科以外の診療科への入院受け入れが可能な体制となっている。</p>	